

日本消防



©善光寺

□ 絵 全国消防大会・第67回日本消防協会定例表彰式 平成27年3月10日(火) 於 ニッショーホール
日本消防協会定時理事会・評議員会を開催 平成27年3月10日(火) 於 日本消防会館

巻頭言 消防団活性化を目指して！	(公財)宮崎県消防協会 会長 日高 繁憲	1
日消の動き 消防出初式いろいろ	(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文	3
平成27年度(公財)日本消防協会事業計画について	(公財)日本消防協会	4
特別表彰「まとい」を受賞して 「地域防火防災活動に邁進」	高知県本山町消防団 団長 高橋 徳弘	8
東西南北(長野県)「地域住民の安全と安心のために」	佐久穂町消防団 団長 高橋 康德	10
東西南北(奈良県)「安心・安全のまちづくり」を目指して	桜井市消防団 団長 西川 義孝	12
東西南北(愛媛県)「住む人が誇りに思い、誰からも愛されるふるさと」を目指して	西予市消防団 団長 佐伯 茂喜	14
シンフォニー(千葉県) 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会を終えて	千葉県消防団 副分団長 中村 妙子	16
全国消防大会 第67回日本消防協会定例表彰式	(公財)日本消防協会	18
平成26年度消防功労者消防庁長官表彰	総務省 消防庁	21
少年消防クラブ活動に参加しませんか	消防庁 地域防災室	39
平成27年度消防防災科学技術賞の作品募集	消防庁 消防研究センター	40
第3回国連防災世界会議における仙台市7消防団の活躍について	仙台市7消防団(青葉、宮城野、若林、太白、泉、宮城、秋保)	41
奈良市消防団を中核とした連携訓練の実施について	奈良市消防団 団長 川崎 政信	42
うちの名物団員		43
消防団員の広場(三重県)「オリジナル操法競技大会で団員の結束を固める」	四日市市消防団 団長 伊藤 忠夫	45
消防団員の広場(三重県)「消防団と消防署が一丸となって災害に立ち向かう」	鳥羽市消防団 団長 小野田 繁	46

編集後記

表紙写真説明

七年に一度の盛儀 善光寺御開帳 平成27年4月5日(日)～5月31日(日)

日本最古といわれる御仏を祀る善光寺は、日本を代表する霊場であり、法燈連綿として約1400年の歴史を経て今日に至っております。

数え年で七年に一度、秘仏である御本尊の御身代わり「前立本尊」(鎌倉時代・重要文化財)を本堂にお迎えして行う「善光寺前立本尊御開帳」。その期間中に本堂前に立てられる高さ約10mの回向柱に触れることは、前立本尊の御手と「善の綱」によって結ばれるため、前立本尊に触れるのと同じ御利益あるといわれます。

仏都の春、御仏とのありがたいご縁が生まれます。

(長野県長野市)

全国消防大会 第67回日本消防協会定例表彰式

平成27年3月10日(火) 於 ニッショーホール



日本消防協会定時理事会・ 評議員会を開催

平成27年3月10日(火) 於 日本消防会館



「消防団活性化を目指して！」

(公財)宮崎県消防協会 会長 日高 繁憲



我が宮崎県は、太平洋に面し、三方を山に囲まれ、豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、まさに日向国(ひゅうがのくに)である。

宮崎の気候風土は、「高湿多雨晴」(南海型気候区)で年中温暖な気候による自然豊かな土地柄と「台風」の通り道という「自然の恵み」と「災害」という、2律背反性を持ち合わせております。

本県の消防団員の状況は、2014(平成26年)10月1日現在、15,164名で男14,840名 女324名であり、昨年比13名の増加となっております。

宮崎県消防協会におきましては、3年前から広報啓発事業として、地元テレビ(2局)による消防団員募集広報を実施しています。

内容としては、宮崎放送(MRTテレビ)で毎週火曜日午後0時5分頃の15秒間と17時過ぎの番組の中の15秒間を交互に消防団員募集広報を行っており、さらに、テレビ宮崎(UMK)では、元旦からの3日間に計6本(1日2本)各15秒間の消防団員募集CM放映を行っています。

また、ラジオによる広報として、地元MRTラジオ局が県内全域で現在消防団員として頑張っている団員による生放送を月1回巡回取材して放送し、消防団員の活動状況や体験談などを取材し、放送終了時には現在消防団員募集中を伝え、各市町村の問い合わせ先を知らせるなどの広報啓発事業を積極的に行っ

ており団員増加の一因となったものと思います。

つぎに、毎年実施している消防大会について紹介したいと思います。

全国各県で実施されていると思いますが、本県では、二部構成で開催しており一部で式典・表彰そして団員の意見発表等を行い、二部ではラッパ隊フェスティバルを実施しております。

県内10支部から各代表市町村のラッパ隊が出場し(10隊)約5分間の吹奏をして競い合う大会で、審査には大学教授や高校教師など3名の音楽関係者により、演奏や規律面等も含めて審査し順位を決定し表彰しております。

今後も引続き当大会を継続し、ラッパから奏でる音色が素晴らしい結束力・団結力を育むことができる大会として盛り上げていきたいと思っております。

つぎに、昨年度から開催することとなった宮崎県女性消防団員活性化大会について紹介します。



本年2月14日（土）午後1時半から宮崎市中心街のイベントホールにおいて、第1回の宮崎県女性消防団員活性化大会を主催（公財）宮崎県消防協会（協会長 日高繁憲）と共催宮崎県そして開催地事務局宮崎市消防団（団長 高橋昌久）との共同で開催し、秋本敏文（公財）日本消防協会会長、稲用宮崎県副知事そして戸敷宮崎市長の御出席をいただき盛大に開催することができました。



大会には、県内各市町村から女性消防団員150名、県内全団長及び全担当者そして消防長、消防関係者など総計250名に参加していただきました。

当大会の開催は、県内を7～10市町村毎の3ブロックに分割し、輪番制により開催することとし、該当ブロックの市町村で協議して開催地を決定後、開催地消防団の女性団員による実行委員会を設置し、計画・運営・進行等について女性消防団員が主体性を持って実施することとしています。

第1回大会内容は、3ブロックの代表市町村女性団員による活動事例発表があり、自分たちの活動の特異性やユニーク性をそれぞれ発表した後、アトラクションでは、保育園園児による消防操法の披露、女性消防団による寸劇披露や宮崎市消防団音楽隊演奏などがあり、当大会を盛り上げてくれました。

その後、ヘルシーライフコーディネーターの

浦川巳桔子（みえこ）氏による「メタボリック症候群の予防と改善」と題してのご講演があり、軽体操などを行っての研修で、会場内和やかな雰囲気の中にも真剣に受講しておりました。

大会終了後は、参加者全員が情報交流会に出席し、意見交換を行い次年度の開催事務局の都城市女性消防団の挨拶、万歳により幕を閉じました。

本大会にご協力いただいた、秋本会長をはじめ日本消防協会の職員の皆様そして、開催事務局の皆様や関係機関の皆様から心から感謝とお礼を申し上げます。

今後、当大会が本県消防団の活性化と団員確保等に大きく貢献してくれることを心から期待しているところであります。

おわりに、一昨年末「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、今年度は新法施行後の実質初年度となります。

地域防災の中核である消防団が、消防団員の確保や装備の改善等に積極的に取組むとともに、組織体制の充実強化を図り、本県消防の総力を結集し防災体制強化のスタートを切ることができるよう、消防関係者が連携し、国・県からの財政措置や各市町村の予算措置など必要な施設等の実現に総力を挙げなければならないと思っておりますので引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。



消防出初式いろいろ

(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文

消防出初式は、住民の皆さんの人気が高い、最も華やかな消防イベントのひとつです。それだけに全国各地、それぞれ工夫をこらして盛りあげています。日消では全国の動向をアンケート調査しましたが、ここでは回答のあらましをやや感想風に申し上げます。

元々、消防出初式は消防の勇姿を皆さんに観て頂くことから始まったのではないかと考えるのですが、当然、できるだけ大勢の人たちに観て頂けるように工夫しておられます。日取りや場所の選定は勿論、内容も一層魅力あるものにし、さらに、市町村広報紙などはもとより、一般マスコミへの働きかけなど、PRに力を入れておられます。

そのような中で、このところ目立つと思われるのは、単に観て頂くだけでなく、できるだけ参加して頂く機会を用意しよう、そしてその時の活動内容も楽しく、為になるよう工夫しようという動きです。

参加者には、常備消防や消防団のほか、自衛隊、警察、水防など防災機関、さらに企業の自衛消防隊、消防団協力事業所などがあり、加えて、自主防災組織、女性（婦人）防火クラブ、幼少年消防クラブ、地元小・中・高・大学生、赤十字奉仕団、ボーイスカウト・ガールスカウト、災害時支援ボランティアなどの参加もみられます。住民の皆さんすべてのご参加に近い感じです。

そして、出初式のなかでの活動内容もさまざまです。パレードへの多くの方々のご参加で盛りあげて頂くほか、ブラスバンド、太鼓などの演奏、まとい振りやはしご乗り、ポンプ操法や救出救護訓練、多数の参加者による一斉放水、非常食用の炊き出しなど、実践的な活動を含めて、観て楽しく、ひとりひとりの防災活動にとって参考になるものがいろいろです。

一昨年成立のご存知の新法は、常備消防との強い連携のもと、地域にあっては消防団が中核となって、住民の皆さんの総参加、総力結集による地域防災力の充実を進めようという本当に画期的な法律ですが、あらゆる手段を尽くしてこの法律の趣旨実現を目指さなければなりません。消防出初式は、幅広い多数の皆さんのご参加によって、地域防災についてのご理解を深めて頂き、おひとりおひとりの活動が大事だという気持ちをもって頂く貴重な機会になり得ると思います。これからの益々の充実発展が楽しみです。

平成27年度（公財）日本消防協会事業計画 について

(公財)日本消防協会

1. 会 議

公益財団法人として定款等に基づき次の会議を開催する。

- (1) 正・副会長会議 [平成27年5月、9月、平成28年3月、その他随時]
- (2) 理事会 [平成27年5月、9月、平成28年3月、その他随時]
- (3) 評議員会 [平成27年6月、平成28年3月、その他随時]
- (4) 顧問会議 [随時]
- (5) 都道府県消防協会事務局長会議 [平成28年3月、その他随時]
- (6) 福祉共済事業等運営委員会 [随時]
- (7) 地震等防災対策委員会 [随時] (8(2)再掲)
- (8) 消防団員確保対策等委員会 [随時] (4(7)再掲)
- (9) 全国女性消防操法大会運営委員会 [平成27年4月]

2. 優良消防団表彰等

- (1) 全国消防団大会
消防団活動の充実強化、消防団員の意欲の向上及び消防防災思想の普及徹底等を目的として、全国消防団大会を実施する。 [平成28年3月8日(火)]
 - ① 定例表彰
表彰規程に基づき消防活動等に功績のあった団体及び個人を表彰する。
 - ② 講演会等
消防防災に関する講演会等を定例表彰と併せて実施する。
- (2) 特別表彰 [随時]
現場功労のあった団体・個人及び消防業務に特別に功労のあった者を表彰する。

3. 消防操法大会

- (1) 全国の女性消防隊等の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、全国女性消防操法大会を実施する。 [平成27年10月15日(木)]
- (2) 都道府県ごとに開催される消防操法大会に助成金を交付する。(11(5)①再掲)

4. 消防団員等確保事業

消防団員の確保を目標として普及広報及び啓発活動を積極的に推進する。

- (1) 女性消防団員リーダー会議を開催する。 [平成27年9月17日(木)～18日(金)] (11(5)④再掲)
- (2) 全国女性消防団員活性化佐賀大会を開催する。 [平成27年10月29日(木)] (11(5)④再掲)
- (3) ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送する。 [通年] (9(3)再掲)
- (4) 新規に入団した女性消防団員に対して制服等を交付する。 [随時] (11(5)④再掲)
- (5) 新時代に対応した消防団運営方策の普及に係る講座を実施する。 [随時] (11(5)④再掲)
- (6) 消防団応援の店に関する情報を更に収集する等、普及拡大を図る。(11(5)④再掲)

- (7) 消防団員確保対策等委員会を開催し、消防団員の確保対策のあり方等について検討する。

5. 消防団幹部等特別研修事業

(1) 消防団幹部特別研修

消防団の上級幹部団員を各都道府県より1名選抜し、指導者養成のための特別研修を実施する。〔平成28年1月12日(火)～15日(金)〕

(2) 消防団幹部候補中央特別研修

消防団員を各都道府県より選抜し、幹部候補の育成を図るための研修を男女別に実施する。〔平成28年2月3日(水)～5日(金)、17日(水)～19日(金)〕

(3) 消防団員指導員研修

消防団員等の教育訓練のための研修事業を都道府県消防協会と連携し、消防団員指導員の養成研修を実施する。〔随時〕

6. 消防団防災学習・災害活動車両の交付事業

平時は地域住民等に対する防災指導や防災学習に使用するとともに、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる防災学習・災害活動車両を交付する。

7. 少年消防クラブ活性化事業

- (1) 関係機関と連携し、少年消防クラブ活動の活性化を推進する。〔通年〕

- (2) 少年消防クラブ全国交流大会への協力

消防庁主催で実施する「少年消防クラブ全国交流大会」へ協力し、少年消防クラブ活動の活性化を推進する。〔平成27年8月5日(水)～7日(金)〕

- (3) ヨーロッパ青少年消防オリンピックへの派遣(ポーランド・オポーレ市)(10(2)③再掲)

CTIF(国際消防救助協会)が主催するヨーロッパ青少年消防オリンピックへ我が国代表の少年消防クラブ員を派遣し、少年消防クラブの一層の活性化と国際交流を図る。〔平成27年7月18日(土)～28日(火)〕

8. 地震等防災対策

- (1) 東日本大震災後の我が国消防のさらなる充実強化を推進する。

- (2) 地震等防災対策委員会を開催し、現地調査を含め、地震等の災害対策のあり方について調査、検討を行う。

9. 消防広報

消防団に関する情報提供を積極的に行う。

- (1) 機関誌「日本消防」を発行する。〔通年〕(16再掲)

- (2) ホームページの充実を図り、日本消防協会の事業等の広報に努めるとともに、地域防災力の向上に資するよう全国の消防団の活動状況に係る情報等を提供する。〔通年〕

- (3) 消防団活動を広報し、消防団員の確保等に資するため、消防応援団の方々をゲストに迎え、消防団員の出演によるラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」(全国30局ネットによる毎週放送)を実施する。〔通年〕

- (4) 日本消防会館1階の消防団情報プラザを活用し、消防団に関する情報発信を行う。〔通年〕

10. 国際消防調査交流事業

(1) 日中韓消防交流事業

中国及び韓国の消防関係者との交流を深めるため、次の事業等を実施する。

- ① 第29回中国消防事情調査 [平成27年8月17日(月)～24日(月)]
- ② 日中韓消防協会会議(東京) [平成27年11月]
- ③ 日中消防協会定期協議会(東京) [平成27年11月]
- ④ 中国消防協会研修視察団の受入れ 第1期 [平成27年12月]
第2期 [平成28年2月]

(2) 消防国際交流事業

海外消防事情調査や、CTIFの会議等に参加するなど、海外の消防機関との情報交流等を実施し、消防の国際化を推進する。

- ① CTIF女性消防委員会会議(スウェーデン) [平成27年4月26日(日)～30日(木)]
- ② CTIFヨーロッパ青少年消防オリンピック派遣事業(ポーランド・オポーレ市)
[平成27年7月18日(土)～28日(火)]
- ③ 海外消防事情調査(ポーランド、ベルギー、ルクセンブルク)
[平成27年7月21日(火)～29日(木)]
- ④ CTIF総会(クロアチア) [平成27年9月2日(水)～6日(日)]

(3) 消防車両等国際援助事業

開発途上国の消防力の充実強化と友好親善を促進するため、日本国内の中古消防車両を無償援助する。 [通年]

11. 消防団員等福祉共済事業

消防団員等が死亡し又は障害を受けた場合等に、その家族の生活を守るとともに、消防団員等の福祉を増進する総合的な共済事業を特定保険業として実施する。

- (1) 消防団員の全員加入の推進
- (2) 消防職員等の加入者増の推進
- (3) 弔慰金、遺族援護金又は入院見舞金等の共済金の支払いの迅速化
- (4) 入院見舞金の給付内容充実に向けた取組み
- (5) 消防団員等の福祉の増進を目的とする次の各種福祉増進事業の円滑な実施

① 健康増進等事業

消防団員等の健康増進及び公務による事故の防止に資する業務

ア.消防団員等への健康指導

イ.「いきいき消防」の発行 [年4回]

ウ.都道府県消防協会が行う健康器具の購入等に対する助成

エ.都道府県消防操法大会に対する助成

② 大規模災害活動支援事業

消防団の大規模災害活動に対する支援事業

ア.大規模な災害の発生に際し、災害活動の情報収集にあたりとともに、被災地の消防団へ災害対策支援金を交付する。

イ.大規模な災害の発生に際し、必要に応じ非常用食料等を交付する。

③ 殉職消防団員等慰霊事業

殉職した消防団員等に対する慰霊事業

ア.全国の消防殉職者(消防団員・消防職員・一般協力者)の慰霊祭を日本消防会館において実施する。 [平成27年9月10日(木)]

イ. 都道府県消防協会が行う消防殉職者慰霊祭等の実施に対する助成 [随時]

④ 加入促進等事業

消防資器材の交付その他消防団員等福祉共済への加入促進と維持発展を図るために効果的と認められる事業

ア. 消防資機材(車両)の交付

イ. 女性消防団員リーダー会議の開催 [平成27年9月17日(木)~18日(金)]

ウ. 全国女性消防団員活性化佐賀大会の開催 [平成27年10月29日(木)]

エ. 新規に入団した女性消防団員に対する制服等の交付

オ. 新時代に対応した消防団運営普及に係る講座の実施

カ. 都道府県消防協会が行う消防団員研修等事業及び加入促進事務推進事業等に対する助成

キ. 消防団応援の店に関する情報の収集及び普及拡大

12. 婦人消防隊員等福祉共済事業

婦人消防隊員等の福祉の増進を図るため、婦人消防隊員等福祉共済事業を特定保険業として円滑に推進する。 [通年]

13. 防火防災訓練災害補償等共済事業

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合に、その負担をてん補することを目的とした防火防災訓練災害補償等共済事業を特定保険業として円滑に推進する。 [通年]

14. 消防個人年金事業

(1) 消防職団員の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした消防個人年金事業を実施する。

また、この制度を多くの消防職団員に活用してもらうため説明会の開催など丁寧な広報活動を行い、加入促進を図る。 [通年]

(2) 第19回消防個人年金海外視察を実施する。(ドイツ) [平成27年5月13日(水)~20日(水)]

15. 日本消防会館の運営

日本消防会館における各種設備機械類維持管理及び各テナントや消防団情報プラザ等の適切な管理を行うとともに、会館内の執務環境の充実に努め、併せてニッショーホール及び貸会議室等の健全な運営を図る。 [通年]

16. 出版物及びグッズの販売

機関誌「日本消防」、「守れわがまち」など消防防災に関する出版物やグッズの販売を促進する。 [通年]

17. 消防関係団体に対する事業協力

殉職消防職団員等の子弟の育英事業を行う公益財団法人消防育英会、消防職団員の福祉厚生の一翼を担う生活協同組合全日本消防人共済会、民間防火組織の育成や防火・防災思想の普及を行う一般財団法人日本防火・防災協会、消防殉職者のご遺族の連絡組織である全国消防殉職者遺族会等に対し、事業協力を行う。

18. その他

引き続き事務事業の効率化及び経費の削減合理化を図るとともに、多様な財源の確保に努める。



特別表彰「まとい」を受章して ——

「地域防火防災活動に邁進」

高知県本山町消防団 団長 高橋 徳弘



1 はじめに

平成27年3月10日、日本消防会館で開催されました「第67回日本消防協会定例表彰式」におきまして、消防団として最高榮譽である日本消防協会特別表彰「まとい」を拝受いたしました。

全国数ある消防団の中からこの榮譽ある表彰を受章できましたことは、本山町消防団関係者にとりましてこの上ない喜びであり誇りであります。

これもひとえに、本町消防団の歴史と伝統を築いてこられた諸先輩方の功績、そして常日頃、防災の最前線に立って、日夜、火災をはじめとするあらゆる災害から地域住民の生命、財産を守るため消防団の使命を果たしてきた団員各位とその活動を陰で支えてこられたご家族のご理解とご協力の賜であり、深く感謝申し上げます。

2 本山町の紹介

本山町は四国のほぼ中央部に位置し、人口は約4千人、面積約130km²、約9割が山



全国大会



日消表彰式

林を占め、農林業が基幹産業です。町の中心部を四国三郎「吉野川」が流れ、水と緑に恵まれた町です。藩政時代の宰相、野中兼山ゆかりの地として、また春にはシャクナゲが咲きほこる「婦全山公園」や桜の名所の公園があります。夏には、「汗見川清流マラソン大会」や吉野川でのアウトドアスポーツ、カヌー体験などで多くの人が訪れます。また、棚田で造られるお米は、「特別栽培米 土佐天空の郷」として、大粒で色味のよいものだけが選別して出荷され、2010静岡お米コンテストでは、最優秀を受賞しています。平成23年にはNPO法人「日本で最も美しい村連合」に加盟し、豊かな自然の景観保全や、資源を生かした地域の活性化に積極的に取り組んでいます。

3 本山町消防団

本山町消防団の歴史は、明治25年に地元青年や在郷軍人を組員とする私設義勇消防組が県下郡部に先がけて組織されたことを起源とします。昭和30年4月20日、本山町

と吉野村の合併により、新生本山町が誕生するとともに、両消防団が統合され、団員250名の本山町消防団が発足しました。

現在の組織は、1団本部、6分団、条例定数220名で組織しており、指令車1台、ポンプ車3台、積載車13台、小型動力ポンプ4台を保有。県消防操法大会では平成19年にポンプ車の部で優勝、平成23年に小型ポンプの部で優勝し、平成24年、第23回全国消防操法大会小型ポンプの部に初出場。他県の精鋭が注目する中、これまでの訓練の成果を遺憾なく発揮し、大会最速のタイムで準優勝を果たしました。

4 本山町消防団の主な活動

本町消防団の主な活動は、災害防ぎょ活動はもとより、町総合防災訓練や各地区が実施する防災訓練への参加により自主防災組織等との連携強化を図るといった地域密着の活動を行っています。

毎年1月に消防団出初め式を実施し、訓練礼式の披露、各種表彰や感謝状の贈呈を行った後、町内防火パレードを実施しています。また、新入団員は消防学校にて、消防機械器具の取扱いや消防団員としての基礎を学んでいます。

また、嶺北地域を管轄する近隣の4町村消防団で、夏期合同演習として操法大会(ポンプ車操法、小型ポンプ操法)や板送り大会を実施しており、各分団が日頃の訓練の



板送り大会

成果を発揮する機会となっています。

さらに、予防活動として、火災想定訓練の実施、秋季火災予防運動中には町内防火パレード、年末特別警戒では夜間、消防車両による広報や徒歩での地域巡回を行う等、火災予防を実施しています。また、各分団では火災に備えて定期的に防火水槽や消火栓の点検を行っています。

5 おわりに

全国的に消防団員の減少が懸念されている今日、本山町消防団においては地域防災力を向上するために平成25年度に消防団定数確保対策協議会を立ち上げ、消防団員の確保に努めています。

この度、受章しました栄誉ある特別表彰「まとい」を誇りに、本山町消防団員一同、今後更に、町民の生命・身体及び財産を守るために、地域防災防火活動に邁進してまいります。



出初め式



全国大会



『地域住民の安全と 安心のために』



佐久穂町消防団 団長 高橋 康徳

1 佐久穂町の紹介

佐久穂町は、平成17年3月に佐久町と八千穂村の2町村が合併して誕生した町で、長野県の東側、佐久地域の中央に位置し、東は群馬県に接しています。

町の中央部を千曲川が南北に流れ、並行するように中部横断自動車道が現在着々と建設されています。千曲川を境に西には八ヶ岳山系、東には秩父山系の山々が広がり、これらを結ぶように国道299号が東西に走っています。

日照時間が年平均約2,000時間と四季を通じて長く、年平均降水量が約922ミリメートルと雨の少ない恵まれた環境です。

気候は内陸性気候で年間平均気温が10度前後、寒暖の差は大きいものの夏季は冷涼、冬季は積雪が少なく、寒気の厳しい厳冬期を除けば暮らしやすい環境です。



消防出初式

また、長野県はラッパ吹奏も盛んで、毎年7月に行われる長野県ラッパ吹奏大会への出場を目指して各分団から選出した団員でラッパ班を編成し、訓練を重ねています。

消防車両等の装備は、消防ポンプ自動車4台、照明電源車1台、小型動力ポンプ付積載車31台を配備し、活動を行っております。

2 佐久穂町消防団の概要

町村合併に伴い旧佐久町消防団と旧八千穂村消防団が統合し、14分団、団員数512名(条例定数550名)で平成17年3月20日に発足しました。

その後、組織と団員数の見直しを行い、現在は7分団、団員数418名(条例定数440名)で構成されています。

3 機能別消防団員の導入

消防団員の減少により、このままでは消防団活動を維持できなくなるという地区が出てきたため、自主防災組織・自治会・町・消防団で議論を重ね、平成22年4月から機能別消防団員の制度を導入しました。

機能別消防団員は主として消防団OBで構成され、地元で火災等が発生した際に地

元分団の指揮のもと火災防御活動等に
あたることを任務としています。

平成26年4月1日現在の機能別消
防団員数は21名で初期消火活動、警
戒活動など団員不足の地区の消防活動
に大きな役割を果たしています。

4 消防団の活動

消防団の主な活動は1月の出初式を
皮切りに、春・秋2回の総合訓練や毎
年6月に行われる南佐久郡ポンプ操法・
ラップ吹奏大会に向けた訓練のほか、12月
の年末特別警戒や火災予防週間中の火災予
防パレード、高齢者宅の訪問などの火災予
防活動を実施しています。

春の総合訓練では消防団全体で階級ごと
に規律訓練を行い、各階級で必要とされる
訓練礼式の修得に取り組んでいます。また、
秋の総合訓練では機械取扱訓練や応急手当
訓練を分団ごとに実施しています。

これまでは災害活動技術の向上に重きを
置いていましたが、消防団員の公務災害防
止についても訓練を実施する必要があると
感じ、今年度は消防団員の公務災害防止の
ため消防基金の事業を活用し、班長以上の



S-KYT研修



県消防操法大会

幹部を対象にS-KYT（消防団危険予知
訓練）研修を実施しました。

大きな声での指差呼称や消火活動中の一
場面にどんな危険が潜んでいるかをチーム
で考え、話し合うことによって新たな発見
をしたり、現場で注意すべきことを認識し
たりする良い機会だったと感じています。

5 終わりに

昨年も全国的に大規模な災害が多く発生
しました。長野県内においても土石流災害、
火山噴火そして地震と様々な災害に苦しめ
られた年でした。

多様化・広域化した様々な災害の発生が
懸念される中で、消防団は地域防災力
の要として期待をされていますが、社
会情勢の変化から少子化や、サラリー
マン化等により団員の確保難など数々
の問題も抱えています。

こうした種々の問題の解決を図りな
がら、地域住民の「安全・安心な暮らし」
を守るために常備消防・関係行政機関
等と連携を密にし、使命感と責任感
を持ち、団員一丸となって消防団活動に
取り組んでいきたいと思ひます。



「安心・安全の まちづくり」を目指して



桜井市消防団 団長 西川 義孝

1 桜井市の紹介

桜井市は、奈良盆地の中央東南部に位置し、県庁所在地の奈良市までは20km（30分圏）、大阪市へは40km（1時間圏）にあります。面積は98.92 km²で市域全面積の約60%が山間部となる自然豊かなまちです。

古くは、「大和は国のまほろば」とうたわれた「ヤマト」の地域にあり、三輪山を御神体とするわが国最古の神社である大神神社や、桜やボタンなど四季を通じ、「花の寺」として多くの人々の信仰を集めている長谷寺、秋の紅葉と「けまり祭」などで有名な談山神社、日本三文殊の一つで知恵の神様として親しまれている安倍文殊院、安産と子授けの地藏尊として信仰を集めている聖林寺などがあります。

最近では纏向遺跡が一部国史跡に指定され、邪馬台国の候補地として全国的にも有名になりました。

2 桜井市消防団の概要

桜井市消防団は、昭和23年3月桜井町消防団として7分団190名をもって発足。昭和30年7月には、桜井大火（台風の風の影響もあり被害が拡大。焼失面積98,521.5㎡、焼失家屋216戸、罹災人員861名）を経験し、住民の火災に対する意識も高まり、昭



消防団出初式

和31年に桜井市制施行とともに桜井市消防団が29分団870名により結成されました。

現在は、市内に11分団46部644名の団員が活動しております。

消防団装備については、消防ポンプ自動車10台、小型動力ポンプ付積載車13台、多機能車1台、小型動力ポンプ28台を配備し、災害時の出動以外にも火災予防啓発活動や休日の訓練・設備点検等災害時に備え日々消防団活動にあたっています。

3 消防団の活動状況

昨年8月に奈良県消防操法大会に出場する分団が、3月より週2回夜間に消防署職員の指導のもとポンプ操法の技術の向上と団結力を養うため厳しい訓練を行いました。

今年1月の出初式では、平成26年4月

から奈良県広域消防組合が発足したことより、初めて消防団が主催となって分列行進や一斉放水を行い、新たなスタートに向けた決意を披露しました。

また文化財防火週間には、市内にある3社寺(談山神社・大神神社・長谷寺)において国民の財産である文化財の防火体制を強化するため、消防署、各自衛消防隊と連携し消火訓練を行い消防団の役割を再確認しました。

3月には、今後発生が予想されるであろう南海トラフ地震等に備えるため、市が主催する避難訓練にも参加し、避難者誘導や避難所開設の訓練を行い、団員の防災力向上と防災意識の高揚に努めました。

4 女性消防団の取組み

現在12名の女性消防団員が火災予防の広報活動、独居老人宅火災予防啓発等様々な活動を行っています。また毎年行われる全国女性消防団員活性化大会にも参加し、幅広い知識と視野を習得する為の情報交換を行っています。

最近では、災害時の後方支援に備えて、女性団員が応急手当普及員の資格を取得し、地域住民に対する応急手当の知識・技



長谷寺における文化財防火訓練

術を普及する為に自主防災会等の訓練現場で活躍しています。

5 終わりに

近年、わが市においても、少子高齢化・山間部の過疎化により団員の確保が難しくなってきました。また団員のサラリーマン化(被用者率約64%)に伴い、若い団員が都市部の事業所に働きに行ってしまう、昼間の団員が減っております。今後は災害時のみ活動する市内在勤者、消防署員・団員OB等による「機能別団員」の導入等、桜井市の実情に応じた取組みの検討が必要となってきています。

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行に伴い、消防団の環境・装備が充実することは喜ばしいことですが、それに伴い消防団の役割、期待は一層に高まってきております。そのことを十分肝に銘じて、「安心・安全のまちづくり」を目指し地域防災力の中核として活躍できるよう一層頑張っていきたいと思っております。



女性消防団応急手当普及員の講習風景



「住む人が誇りに思い、 誰からも愛されるふるさと」 を目指して



西予市消防団 団長 佐伯 茂喜

1 西予市の紹介

西予市は愛媛県の南西部に位置し、海拔0 mから標高1400 mの高低差があり、総面積が514.81 km²、75%を山林が占めています。県下でも広大な土地を有する西予市は、多様な地形や自然、文化を持っており、各地域には歴史的建造物や古墳群など数多くの文化遺産のほか、民俗芸能や伝統行事が保存伝承されています。

平成25年には四国で2例目の日本ジオパークに認定され、約4億年前の縦じまの美しい地層がみられる須崎海岸や四国カルスト源氏ヶ駄場、石灰岩の段々畑など、現在も人々と自然が豊かに共生しています。

特産品は愛媛の代表みかんのほか、魚介類、米、ぶどう、栗、乳製品、牛肉類など、多様な地形や自然によって育まれている自慢の品々であります。

2 西予市消防団の概要

西予市消防団は平成16年に明浜町、宇和町、野村町、城川町、三瓶町の5町合併によって誕生した西予市とともに、新しい消防団として発足しました。本部と旧町単位の5方面隊、合計26分団で構成され、団員数は1,753人となっております。

消防車両等は、ポンプ自動車18台、小



4億年前の縦じまの地層（須崎海岸）

型動力ポンプ付積載車76台、小型動力ポンプ24台を有しております。

3 西予市消防団員確保のための活動

西予市は、合併当初の人口は約48,000人でしたが、現在約41,000人と過疎、高齢化が進んでおり、条例定数1,895人に対し、実団員数1,753人と消防団員の確保は年々困難となっております。特に、日中は地域外へ働きにでる者も多く、昼間の防災力の維持が問題であります。

そこで、平成22年に西予市消防団条例を改正し「機能別団員」を作りました。消防士や消防団員OBなどに日中の火災の初期消火や災害発生時の支援をしていただくものです。現在32人在籍しており、地域の消防力の維持に大変貢献しております。

また、平成25年に「西予市消防団協力事業所表示制度」を施行しました。

昨年12月には16事業所が登録され、西予市消防団協力事業所表示証交付式を開催し、事業所には従業員らの消防団活動参加に理解と協力を約束していただきました。

4 女性消防団員

西予市消防団には女性消防団員が37人在籍しており、その内訳は、明浜方面隊明浜分団32人、三瓶方面隊本部5人です。明浜方面隊明浜分団には歴史があり、大正10年には明浜女子火防隊として既に発足しています。元々漁業中心の地域で、昼間男性が漁に出ている間の火事は、留守を任されている女性が消す必要があったためだと考えられています。現在でも、毎月の水利や機械器具の点検、操法訓練なども実施しており、災害時における後方支援や防災啓発活動などの活躍が期待されています。



昭和10年頃女子火防隊（明浜狩江小校庭）



西予市消防団協力事業所表示証交付式H26.12.24

5 おわりに

西予市の人口も年々減少しており、それと比例し、消防団員数も減少しております。しかしながら、住民の安心・安全のためには、消防団員が必要不可欠です。我々消防団は、「住む人が誇りに思い、誰からも愛されるふるさと」を目指して、人々が笑顔で暮らしていけるよう、今後においても機能別団員や女性消防団員を積極的に任用し、防災力の維持・強化や予防に努めていく必要があると考えております。



救助訓練をしている女性団員（明浜分団）



シンフォニー（千葉県） 第20回全国女性消防団員活性化 ちば大会を終えて

千葉市消防団 副分団長
中村 妙子

すばらしい晴天のもと、平成26年11月14日（金）に第20回全国女性消防団員活性化ちば大会が開催されました。「女性の力で地域を守る～ちばから全国へ 地域防災の輪を広げよう～」を大会テーマに掲げ、参加者3,800名と史上最大規模の大会となりました。

会場が2ヶ所になりましたが、舞浜駅からディズニールランド隣接の会場までの間、シンデレラ城や火の山が見え、夢の国に歓迎され胸をワクワク踊らせて進んでいただけただけでしょう。

オープニングで会場特設のセリから登場した大会旗入場に会場がどよめきました。活動事例発表、火災予防啓発劇、千葉県出身の女優 市原悦子さんの記念講演と大会プログラム全てにおいて、大成功と確信しております。また、活動事例発表、火災予防啓発劇に応募いただいた中で、時間の都合上発表できなかった皆様も、努力と熱意に溢れていました。懲りずに更に活性化してチャレンジしてほしいと思います。

私は、ちば大会の成功にむけて約1年半の間、実行委員兼運営委員として関わらせて頂きました。千葉県下の女性団員代表15名の運営委員と共に議論をし検討を重ね、貴重な経験と友情の絆を結ぶことがで



閉会式 「お礼の言葉」

きました。運営委員の中には活性化大会に参加したこともなく大会そのものを知らない方がおりました。初めて活性化大会に触れた委員は気持ちも前向きになり、地元の活動にも一層力を入れていると聞きました。5年前に入団した私の娘が、情報交流会の司会を務めさせて頂き、親子で記念すべき一日となりました。

ちば大会にご尽力、ご協力頂いた全ての皆様に心から感謝申し上げますと共に、ちば大会に参加された団員の皆様が、この大会を機に導火線となり更に活性化されますことを切に願っております。

さて、私は先日3名の女性に入団のお誘いに伺いました。1名は昨年入団した団員の友人で入団決定。2名の方は入団には至りませんでした。仕事と子育てが主な理由でした。女性が家庭から一歩踏みだし、新

しいことにチャレンジするには勇気のいることです。

総務省消防庁は女性団員を10万人に増やす目標を掲げております。現在の女性団員の約4倍にあたります。しかし、若い女性は減少傾向にあり、多くは仕事に従事しています。そのような状況で、PRをするのは勿論ですが、消防団に関心を持ち魅力を感じて貰うにはどうすべきか考えていかなければと思います。

女性の活躍の場が広がり益々期

待される中、後を託す団員を育て、先輩から引継ぎ培ってきたものを繋いでいかなくはなりません。そして現状に甘んじることなく、例えば救急救命において、講習を受ける側ではなくインストラクターとして指導する立場へと一歩先に進んで行くことです。

男女共同参画社会基本法が施行されてか



応急手当訓練



千葉市消防出初式 分列行進

ら久しいのですが、消防団においても各種会議などに積極的に女性団員を参加させていただき、女性の意見を反映していくことが、発展と活性化に繋がると思います。女性が総務大臣を担う時代ですし、男性と同じ技能ができるか否かは別問題ではないでしょうか。

第21回大会は佐賀県で、「明日への創造～地域・生命・未来を守る女性消防団～」を大会テーマに開催されます。

どのような大会になるのでしょうか。佐賀の女性は強いと昔から言われております。更に活性化された女性団員が全国から集い、パワーに溢れ、そして女性ならではの新しいドラマが生まれることを心から期待し、佐賀大会の大成功を祈り、エールを送ります。

全国消防大会 第67回日本消防協会定例表彰式 講演、消防団活動報告

(公財)日本消防協会

平成27年3月10日(火)午後1時から、日本消防会館ニッショーホールにて、全国消防大会・第67回日本消防協会定例表彰式が挙行されました。

第1部の表彰式には、二之湯智総務副大臣、西銘恒三郎総務副大臣、坂本森男消防庁長官、大江秀敏全国消防長会会長をはじめとする来賓の方々を含む約600名の方々のご出席されました。式は、松浦副会長の開式の辞で始まり、国歌斉唱、消防殉職者への黙祷、日本消防協会会長の式辞と進み、特別表彰「まとい」、特別功労章が各受章団(員)受章者に秋本会長から表彰状等が授与され、表彰旗以下の表彰については、各代表者に授与されました。

第2部では、はじめに語り部 平野啓子氏を講師にお招きし、「語り伝える防災の心」をテーマにご講演をいただきました。続いて、消防団活動報告として長野県白馬村消防団 横山義彦団長より長野県北部地震における震災活動について報告をいただき、大会が終了しました。



会長式辞



総務大臣祝辞(代読 二之湯智総務副大臣)



特別表彰「まとい」10団



特別功労章 10名



優良消防団（表彰旗）40団



優良消防団（竿頭綬）90団



功績章 958名



精績章 2,283名



勤続章 7,491名



優良婦人消防隊（表彰旗）16隊



優良婦人消防隊員（功績章）16名



都道府県消防協会等役職員
永年勤続者表彰 5名

【第2部】

○講演（午後2時20分～午後3時20分）

講師 語り部 平野啓子氏

演題 「語り伝える防災の心」



○消防団活動報告（午後3時20分～午後3時35分）

震災活動 長野県白馬村消防団 団長 横山義彦氏



平成26年度消防功労者消防庁長官表彰

総務省 消防庁

消防記念日（3月7日）にちなみ、平成27年3月6日（金）ニッショーホールにおいて、平成26年度消防功労者消防庁長官表彰式が行われました。本表彰式において受章された消防団員は次のとおりです。



功労章を授与する消防団員（70名）				都道府県名 所 属 階 級 氏 名				
都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名	
北海道	上川北部消防事務組合音威子府消防団	団長	阿部 洋	愛知県	名古屋市御園消防団	団長	三浦 義一	
	〃 榎山広域行政組合せたな町瀬棚消防団	団長	黒野 主税	〃	名古屋市稲葉地消防団	団長	角田 祐三	
	〃 釧路東部消防組合厚岸消防団	団長	熊部 義明	〃	尾張旭市消防団	団長	水野 幸夫	
	〃 日高東部消防組合えりも町消防団	団長	桑折 英夫	三重県	川越町消防団	団長	水田 所隆	
	〃 北留萌消防組合天売消防団	団長	齊藤 弘勝	京都府	大山崎町消防団	団長	田中 正樹	
	〃 渡島西部広域事務組合木古内消防団	団長	佐々木 明	〃	和束町消防団	団長	前中 彬	
	〃 西十勝消防組合清水消防団	団長	佐藤 幸	〃	京都市下京消防団	団長	前中 彬	
	〃 西十勝消防組合屈足消防団	団長	竹浦 隆	兵庫県	姫路市香寺町消防団	団長	平井 正昭	
	〃 北留萌消防組合焼尻消防団	団長	寺坂 國廣	〃	豊岡市出石消防団	団長	藤本 弘安	
	〃 釧路北部消防事務組合川湯消防団	団長	渡辺 正次	奈良県	三郷町消防団	団長	坂本 安久	
青森県	〃 白老町消防団	団長	松田 喜代一	和歌山県	上富田町消防団	団長	山田 雅久	
	〃 長万部町消防団	団長	阿部 正弘	〃	太地町消防団	団長	山下 雅久	
	〃 田舎館村消防団	団長	向井 正弘	鳥根県	江津市消防団	団長	横井 秀次郎	
	〃 弘前市消防団	団長	工藤 昇広	岡山県	美作市消防団	団長	水嶋 久	
	岩手県	奥州市消防団	団長	千手 昭	〃	笠岡市消防団	団長	水嶋 久
	宮城県	大衡村消防団	団長	織田 久栄	広島県	江田島市消防団	団長	竹原 美
	秋田県	鹿角市消防団	団長	黒澤 文男	〃	府中町消防団	団長	竹内 直
	〃 湯沢市消防団	団長	近野 宗之	徳島県	石井町消防団	団長	中川 直	
	〃 湯沢市消防団	団長	近野 宗之	〃	上板町消防団	団長	中川 直	
	福島県	大熊町消防団	団長	吉田 稔彦	〃	板野東部消防組合消防団	団長	原田 幹夫
茨城県	常陸大宮市消防団	団長	岡山 勝彦	愛媛県	松野町消防団	団長	岡下 純	
栃木県	鹿沼市消防団	団長	瓦井 伸一	高知県	香南市赤岡消防団	団長	久保 勇之	
埼玉県	加須市消防団	団長	野村 宏	〃	中芸広域連合安田町消防団	団長	小田 中夫	
千葉県	横芝光町消防団	団長	椎名 孝次	〃	中芸広域連合北川村消防団	団長	小田 中夫	
〃	鎌ヶ谷市消防団	団長	渡辺 誠幸	〃	三原村消防団	団長	新谷 正和	
東京都	大森消防団	団長	菅 善健	〃	安芸市消防団	団長	野村 久寿昭	
東京都	神田消防団	団長	中田 禎一	福岡県	鞍手町消防団	団長	石田 隆信	
〃	大島町消防団	団長	吉田 喜重	佐賀県	唐津市消防団	団長	山下 肇	
神奈川県	開成町消防団	団長	石井 勝	佐賀県	五島市消防団	団長	江頭 透	
〃	大和市消防団	団長	北島 照介	熊本県	津木町消防団	団長	柳 好則	
新潟県	加茂市消防団	団長	佐原 禎一	大分県	佐伯市上浦消防団	団長	兒玉 輝彦	
〃	三条市消防団	団長	長谷川 作雄	宮崎県	諸塚村消防団	団長	大橋 啓良	
富山県	朝日町消防団	団長	長正 正	〃	都城市消防団	副団長	熊野 照	
石川県	穴水町消防団	団長	吉村 多作	〃	都城市消防団	副団長	熊野 照	
岐阜県	御嵩町消防団	団長	長瀬 邦夫	鹿児島県	伊佐市消防団	団長	中越 勇	
静岡県	下田市消防団	団長	藤井 英次	〃	大崎町消防団	団長	前田 住	

永年勤続功労章を授与する消防団員(1,764名)

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	斜里地区消防組合斜里消防団	団長	五十嵐 一彦
〃	北留南消防組合初山別村消防団	団長	鎌田 治
〃	深川地区消防組合秋父別消防団	団長	佐久間 進
〃	北留南消防組合苫前町消防団	団長	瀬川 昭
〃	南十勝消防事務組合中札内消防団	団長	高橋 重信
〃	紋別地区消防組合興部消防団	団長	竹部 英明
〃	檜山広域行政組合せたな町大成消防団	団長	野門 夫
〃	北見地区消防組合留辺蘂消防団	団長	野尻 秀裕
〃	南空知消防組合南幌消防団	団長	津間 正
〃	上川北部消防事務組合中川消防団	団長	吉川 英一
〃	札幌市清田消防団	副団長	赤坂 稔
〃	増毛町消防団	副団長	赤島 春樹
〃	釧路北部消防事務組合弟子屈消防団	副団長	上村 保範
〃	函館市函館消防団	副団長	近江 夫
〃	紋別地区消防組合紋別消防団	副団長	奥谷 貞由
〃	滝川地区広域消防事務組合芦別消防団	副団長	小野 頌基
〃	千歳市消防団	副団長	角田 憲信
〃	渡島西部広域事務組合松前消防団	副団長	渡島 子宏
〃	美幌・津別広域事務組合美幌消防団	副団長	河村 松治
〃	石狩北部地区消防事務組合当別消防団	副団長	木路 喜代史
〃	釧路東部消防組合厚岸消防団	副団長	解良 旗男
〃	利尻礼文消防事務組合利尻礼文町消防団	副団長	今 昭
〃	函館市南茅部消防団	副団長	坂井 満
〃	南空知消防組合長沼消防団	副団長	紫竹 登
〃	砂川地区広域消防組合奈井江消防団	副団長	島 不二彦

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	江別市消防団	副団長	白旗 隆夫
〃	士別地方消防事務組合和寒町消防団	副団長	杉澤 茂文
〃	岩内・寿都地方消防組合黒松内消防団	副団長	岩内 晴
〃	旭川市消防団	副団長	高橋 享
〃	砂川地区広域消防組合砂川消防団	副団長	田川 正人
〃	檜山広域行政組合江差町消防団	副団長	竹内 正春
〃	三笠市消防団	副団長	田尻 照
〃	南十勝消防事務組合更別消防団	副団長	田中 康雄
〃	北見地区消防組合北見消防団	副団長	谷本 勇治
〃	西十勝消防組合清水消防団	副団長	西部 健
〃	檜山広域行政組合上ノ国町消防団	副団長	長谷川 俊郎
〃	檜山広域行政組合せたな町瀬棚消防団	副団長	福井 勉
〃	羊蹄山ろく消防組合倶知安消防団	副団長	細川 三照
〃	稚内地区消防事務組合稚内消防団	副団長	細松 昌幸
〃	函館市恵山消防団	副団長	三浦 仁一
〃	岩内・寿都地方消防組合岩内消防団	副団長	三島 洋
〃	釧路北部消防事務組合標茶消防団	副団長	三好 達雄
〃	大雪消防組合美瑛消防団	副団長	山田 志津雄
〃	小樽市消防団	副団長	山本 周二
〃	池北三町行政事務組合陸別消防団	副団長	山本 周
〃	釧路東部消防組合浜中消防団	副団長	渡部 健
〃	登別市消防団	分団長	相澤 定彦
〃	網走地区消防組合女満別消防団	分団長	藤岡 義博
〃	根室北部消防事務組合中標津消防団	分団長	荒 武彦
〃	札幌市南消防団	分団長	井口 敏
〃	遠軽地区広域組合遠軽町消防団	分団長	池田 靖男

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	北後志消防組合平消防団	分団長	伊藤 弘樹
〃	岩見沢地区消防事務組合岩見沢消防団	分団長	今井 均
〃	利尻礼文消防事務組合礼文町消防団	分団長	岩崎 清隆
〃	札幌市北消防団	分団長	上坂 保
〃	滝川地区広域消防事務組合滝川消防団	分団長	梅岡 明
〃	根室北部消防事務組合標津消防団	分団長	遠藤 寂
〃	札幌市北消防団	分団長	大笠生 勝
〃	岩内・寿都地方消防組合神恵内消防団	分団長	坂 勇一
〃	札幌市中央消防団	分団長	大沼 幹夫
〃	日高東部消防組合様似町消防団	分団長	大橋 伸
〃	上川北部消防事務組合名寄消防団	分団長	小園 千昭
〃	日高西部消防組合平取消防団	分団長	奥村 好志
〃	西胆振消防組合洞爺湖消防団	分団長	奥山 耕
〃	札幌市白石消防団	分団長	小田 俊雄
〃	日高中部消防組合新冠消防団	分団長	片山 豊
〃	八雲町八雲消防団	分団長	勝谷 明
〃	根室北部消防事務組合羅臼消防団	分団長	神山 公仁
〃	室蘭市消防団	分団長	菅野 三知博
〃	羊蹄山ろく消防組合京極消防団	分団長	菊地 重美
〃	羊蹄山ろく消防組合蘭越消防団	分団長	木村 重雄
〃	旭川市消防団	分団長	坂下 武
〃	小樽市消防団	分団長	依々木 孝
〃	南宗谷消防組合枝幸消防団	分団長	澤田 礼
〃	東十勝消防事務組合豊頃消防団	分団長	清水 信秀
〃	根室北部消防事務組合別海消防団	分団長	杉本 賢一
〃	富良野広域連合富良野消防団	分団長	杉本 良

都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	釧路市消防団	分団長	鈴木 敏夫
〃	釧路市消防団	分団長	鈴木 実
〃	西胆振消防組合豊浦消防団	分団長	岡本 勇
〃	札幌市豊平消防団	分団長	高橋 英治
〃	森町消防団	分団長	山口 修
〃	苫小牧市消防団	分団長	出口 義勝
〃	渡島西部広域事務組合知内消防団	分団長	堂前 哲夫
〃	日高中部消防組合三石消防団	分団長	島 部 勇
〃	森町消防団	分団長	中田 浩一
〃	西胆振消防組合伊達消防団	分団長	中野 守昭
〃	北後志消防組合積丹消防団	分団長	中村 光昭
〃	北十勝消防事務組合上士幌消防団	分団長	中村 光雄
〃	長万部町消防団	分団長	西 好洋
〃	帯広市消防団	分団長	西 植文
〃	留萌消防組合留萌消防団	分団長	二本柳 貞
〃	胆振東部消防組合穂別消防団	分団長	丹羽 義博
〃	鷹栖町消防団	分団長	畑山 郁
〃	網走地区消防組合網走消防団	分団長	八谷 信
〃	根室市消防団	分団長	前川 光男
〃	森町消防団	分団長	前本 俊之
〃	稚内地区消防事務組合豊富消防団	分団長	前松 武
〃	札幌市西消防団	分団長	水口 吉信
〃	夕張市消防団	分団長	岩 徳 勇
〃	札幌市清田消防団	分団長	村西 新市
〃	胆振東部消防組合安平消防団	分団長	森 田 喜一
〃	深川地区消防組合沼田消防団	分団長	森谷 明

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
北海道	士別地方消防事務組合士別市消防団	分団長	山崎 貴	青森県	三戸町消防団	副団長	船場 徳志
〃	東十勝消防事務組合幕別消防団	分団長	山崎 武弘	〃	弘前市消防団	副団長	船場 明徳
〃	上川北部消防事務組合美深消防団	分団長	山本 修	〃	深浦町消防団	副団長	船場 與志
〃	恵庭市消防団	分団長	吉田 俊二	〃	むつ市消防団	副団長	船山 形博
〃	小樽市消防団	分団長	和田 一志	〃	風間浦村消防団	副団長	山本 寛良
〃	上川町消防団	分団長	和田 丈廣	〃	五戸町消防団	副団長	山本 若松
〃	釧路北部消防事務組合鶴居消防団	分団長	渡部 隆信	〃	青森市青森消防団	副団長	和田 裕行
〃	南宗谷消防組合中頓別消防団	副分団長	石井 孝則	〃	板柳町消防団	分団長	和田 津昭
〃	胆振東部消防組合鶴川消防団	副分団長	高玉 幸吉	〃	むつ市消防団	分団長	池田 昭弘
〃	檜山広域行政組合奥尻町消防団	副分団長	中村 征夫	〃	六ヶ所村消防団	分団長	石久保 秀彦
青森県	東通村消防団	副団長	山上 路政	〃	十和田市消防団	分団長	岩本 勝志
〃	八戸市消防団	副団長	上野 浩	〃	八戸市消防団	分団長	岩本 光雄
〃	弘前市消防団	副団長	小山 朝幸	〃	三沢市消防団	分団長	大館 勇
〃	弘前市消防団	副団長	久保 順一	〃	つがる市消防団	分団長	長内 靖仁
〃	鯉ヶ沢町消防団	副団長	小沼 友一	〃	蓮田村消防団	分団長	柳崎 裕二
〃	弘前市消防団	副団長	笹 敏	〃	平川市消防団	分団長	葛西 金弘
〃	おいらせ町消防団	副団長	笹川 和廣	〃	青森市青森消防団	分団長	我満 郎
〃	横浜町消防団	副団長	岩崎 美智昭	〃	大間町消防団	分団長	柳引 俊光
〃	東北町消防団	副団長	田嶋 勝則	〃	むつ市消防団	分団長	柳引 俊光
〃	田子町消防団	副団長	田沼 誠一	〃	つがる市消防団	分団長	工藤 順一
〃	五所川原市消防団	副団長	外崎 誠一	〃	六戸町消防団	分団長	高坂 昭彦
〃	中泊町消防団	副団長	成澤 清志	〃	平川市消防団	分団長	齋藤 田一
〃	青森市青森消防団	副団長	成元 一	〃	西目屋村消防団	分団長	藤田 恵一
〃	青森市浪岡消防団	副団長	成田 俊博	〃	八戸市消防団	分団長	佐藤 秀樹
〃	五所川原市消防団	副団長	原田 忍	〃	黒石市消防団	分団長	寺口 忠文
〃	黒石市消防団	副団長	福土 司	〃	野辺地町消防団	分団長	戸澤 雄

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
青森県	七戸町消防団	分団長	十枝内 輝夫	岩手県	大槌町消防団	分団長	小國 峰男
〃	五戸町消防団	分団長	鳥谷部 洋一	〃	金ヶ崎町消防団	分団長	小原 伸一
〃	十和田市消防団	分団長	中川原 光	〃	久慈市消防団	分団長	小嶋 道之
〃	つがる市消防団	分団長	成田 甚一	〃	宮古市消防団	分団長	村上 卓
〃	外ヶ浜町消防団	分団長	瀬谷 修	〃	岩泉町消防団	分団長	村上 藤
〃	今別町消防団	分団長	平山 敏明	〃	久慈市消防団	分団長	村上 山
〃	階上町消防団	分団長	水合 寿一	〃	葛巻町消防団	分団長	木戸場 敏昭
〃	南部町消防団	分団長	宮野 富夫	〃	八幡平市消防団	分団長	上藤 敏義
〃	鶴田町消防団	分団長	安田 銀弥	〃	八幡平市消防団	分団長	工藤 敏義
〃	南部町消防団	分団長	山内 公弘	〃	宮古市消防団	分団長	黒澤 志
〃	平内町消防団	分団長	山本 明	〃	久慈市消防団	分団長	黒澤 男
〃	大鰐町消防団	分団長	渡邊 昭雄	〃	山田町消防団	分団長	昆 定夫
〃	佐井村消防団	副分団長	菅野 久義	〃	釜石市消防団	分団長	坂本 健一
岩手県	西和賀町消防団	副団長	熊澤 一夫	〃	野田村消防団	分団長	崎山 清也
〃	住田町消防団	副団長	佐藤 隆士	〃	花巻市消防団	分団長	佐々木 啓一
〃	一関市消防団	副団長	佐藤 隆士	〃	大船渡市消防団	分団長	佐々木 茂
〃	雫石町消防団	副団長	松木 茂	〃	田野畑村消防団	分団長	佐々木 生
〃	紫波町消防団	分団長	阿部 敬	〃	釜石市消防団	分団長	佐々木 保
〃	北上市消防団	分団長	阿部 晋	〃	宮古市消防団	分団長	佐々木 照夫
〃	奥州市消防団	分団長	阿部 義昭	〃	紫波町消防団	分団長	佐々木 信雄
〃	一戸町消防団	分団長	泉久保 一	〃	矢野町消防団	分団長	佐々木 安志
〃	一関市消防団	分団長	伊藤 秀男	〃	奥州市消防団	分団長	佐藤 啓一
〃	花巻市消防団	分団長	伊藤 志	〃	一関市消防団	分団長	佐藤 仁二
〃	九戸村消防団	分団長	伊藤 智幸	〃	一関市消防団	分団長	佐藤 精隆
〃	遠野市消防団	分団長	岩川 清人	〃	久慈市消防団	分団長	佐藤 雄
〃	久慈市消防団	分団長	岩川 忠				

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
岩手県	宮古市消防団	分団長	澤口 義明	岩手県	一関市消防団	副分団長	小野寺 修
〃	盛岡市消防団	分団長	島田 金蔵	〃	一関市消防団	副分団長	小 山 正
〃	一関市消防団	分団長	菅原 和男	〃	一関市消防団	副分団長	小 谷 正徳
〃	一関市消防団	分団長	菅原 晃一	〃	岩手町消防団	副分団長	佐 藤 新吉
〃	花巻市消防団	分団長	高橋 一朗	〃	岩手町消防団	副分団長	澤 瀬 光 雄
〃	奥州市消防団	分団長	高橋 初男	〃	一関市消防団	副分団長	菅 原 一夫
〃	遠野市消防団	分団長	瀧本 孝一	〃	一関市消防団	副分団長	千 子 章一
〃	滝沢市消防団	分団長	武田 明	〃	普代村消防団	副分団長	山口 幹夫
〃	二戸市消防団	分団長	田中 幸夫	宮城県	登米市消防団	副分団長	及川 滋保
〃	平泉町消防団	分団長	千 男 和夫	〃	登米市消防団	副分団長	及川 昭敏
〃	一関市消防団	分団長	千 葉 和 明	〃	石巻市消防団	副分団長	黒 田 敏
〃	一関市消防団	分団長	千 葉 春 喜	〃	石巻市消防団	副分団長	佐 藤 朗志
〃	宮古市消防団	分団長	中 村 剛典	〃	仙台市宮城消防団	副分団長	藤 枝 安 則
〃	盛岡市消防団	分団長	中 水 邦彦	〃	大郷町消防団	副分団長	鈴 木 清 則
〃	遠野市消防団	分団長	田 勝 見	〃	石巻市消防団	副分団長	高 橋 周 治
〃	洋野町消防団	分団長	新 福 島 雄	〃	山元町消防団	副分団長	高 橋 雄 治
〃	釜石市消防団	分団長	藤 井 康 路	〃	多賀城市消防団	副分団長	津 田 孝 造
〃	盛岡市消防団	分団長	古 川 太 治	〃	仙台市若林消防団	副分団長	日 野 久 悦
〃	盛岡市消防団	分団長	古 川 英 夫	〃	石巻市消防団	副分団長	山 内 喜 昭
〃	盛岡市消防団	分団長	細 田 康 尚	〃	登米市消防団	副分団長	山 内 昭 二
〃	平石町消防団	分団長	松 原 啓 司	〃	松島町消防団	分団長	伊 藤 清 利
〃	盛岡市消防団	分団長	山 村 文 男	〃	富谷町消防団	分団長	伊 藤 清 利
〃	北上市消防団	分団長	守 屋 文 夫	〃	美里町消防団	分団長	氏 家 三 司
〃	軽米町消防団	分団長	山 野 下 信 夫	〃	加美町消防団	分団長	及川 三夫
〃	奥州市消防団	分団長	吉 田 宏 行	〃	仙台市若林消防団	分団長	及川 三夫
〃	洋野町消防団	分団長	林 郷 浩 作	〃	気仙沼市消防団	分団長	川 村 剛

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
宮城県	七ヶ浜町消防団	分団長	岸 貞 敏	宮城県	亶理町消防団	分団長	吉 田 政 美
〃	大崎市消防団	分団長	後 上 明 夫	〃	大崎市消防団	分団長	若 若 張 弘 弘
〃	栗原市消防団	分団長	金 藏 一 夫	〃	気仙沼市消防団	副分団長	小 山 正 徳
〃	仙台市宮城野消防団	分団長	今 野 正 夫	〃	栗原市消防団	副分団長	佐々木 喜 孝
〃	角田市消防団	分団長	佐 藤 清 彦	〃	栗原市消防団	副分団長	菅 原 良 一
〃	丸森町消防団	分団長	佐 藤 彦 隆	〃	色麻町消防団	副分団長	菅 原 良 彦
〃	丸森町消防団	分団長	佐 藤 彦 彦	〃	塩竈市浦戸消防団	部長	尾 形 洋 男
〃	白石市消防団	分団長	岡 正 一 夫	〃	加美町消防団	部長	米 宮 一 夫
〃	大崎市消防団	分団長	菅 原 仁 男	秋田県	鹿角市消防団	副分団長	内 田 清 隆
〃	大和町消防団	分団長	菅 原 敏 幸	〃	湯沢市消防団	副分団長	佐 藤 孝 吉
〃	南三陸町消防団	分団長	高 橋 長 平	〃	由利本荘市消防団	副分団長	長 谷 山 肇
〃	仙台市泉消防団	分団長	高 橋 美 雄	〃	横手市横手消防団	副分団長	樋 渡 徹
〃	大河原町消防団	分団長	恒 野 英 雄	〃	横手市山内消防団	副分団長	藤 原 博
〃	蔵王町消防団	分団長	丹 野 昭 和	〃	秋田市消防団	副分団長	横 田 定 和
〃	川崎町消防団	分団長	丹 野 亮 一	〃	鹿角市消防団	分団長	青 山 秀 樹
〃	栗原市消防団	分団長	千 子 忠 良	〃	大館市消防団	分団長	鮫 山 弘 弘
〃	栗原市消防団	分団長	千 子 悦 幸	〃	横手市大森消防団	分団長	阿 部 幸 悦
〃	大崎市消防団	分団長	平 山 幸 幸	〃	仙北市消防団	分団長	阿 部 明 一
〃	大崎市消防団	分団長	福 田 政 廣	〃	能代市消防団	分団長	伊 藤 謙 一
〃	栗原市消防団	分団長	森 常 男	〃	美郷町消防団	分団長	大 坂 高 夫
〃	仙台市青葉消防団	分団長	町 田 茂 夫	〃	秋田市消防団	分団長	大 天 敏 夫
〃	名取市消防団	分団長	三 浦 裕 一	〃	三種町消防団	分団長	加 賀 谷 善 一
〃	気仙沼市消防団	分団長	村 上 公 男	〃	横手市大雄消防団	分団長	加 藤 昭 一
〃	白石市消防団	分団長	利 清 義	〃	大仙市消防団	分団長	加 藤 元 元
〃	大崎市消防団	分団長	遊 佐 信 義	〃	大館市消防団	分団長	加 藤 久 久
				〃	男鹿市消防団	分団長	木 元 一 夫

都道府県名	所属	階級	氏名
秋田県	能代市消防団	分団長	木元孝美
〃	大仙市消防団	分団長	後小松健
〃	由利本荘市消防団	分団長	小今野徳雄
〃	大仙市消防団	分団長	今野徳雄
〃	能代市消防団	分団長	齊正美
〃	仙北市消防団	分団長	齊藤良弘
〃	井川町消防団	分団長	櫻庭新一
〃	大館市消防団	分団長	佐佐木義雄
〃	由利本荘市消防団	分団長	佐藤義雄
〃	秋田市消防団	分団長	佐藤照夫
〃	横手市雄物川消防団	分団長	佐藤正英
〃	湯沢市消防団	分団長	佐藤忠藏
〃	秋田市消防団	分団長	佐藤信和
〃	羽後町消防団	分団長	佐藤久夫
〃	湯沢市消防団	分団長	佐藤久夫
〃	男鹿市消防団	分団長	鈴木耕悦
〃	仙北市消防団	分団長	鈴木博
〃	鹿角市消防団	分団長	高橋正和美
〃	大仙市消防団	分団長	高橋三夫
〃	横手市増田消防団	分団長	高橋武夫
〃	羽後町消防団	分団長	武田康博
〃	大館市消防団	分団長	武田三男
〃	五城目町消防団	分団長	館中信人
〃	大館市消防団	分団長	館中井男
〃	美郷町消防団	分団長	照井男
〃	北秋田市消防団	分団長	岐長兼雄

都道府県名	所属	階級	氏名
秋田県	八郎潟町消防団	分団長	高山政義
〃	湯沢市消防団	分団長	高平田茂男
〃	横手市平鹿消防団	分団長	福藤岡勝政
〃	北秋田市消防団	分団長	藤島勝政
〃	男鹿市消防団	分団長	藤田清秀
〃	大仙市消防団	分団長	藤谷勉
〃	大仙市消防団	分団長	古屋昇
〃	北秋田市消防団	分団長	古川竹好
〃	潟上市消防団	分団長	森門間勉
〃	秋田市消防団	分団長	山縣頼和
〃	潟上市消防団	分団長	山崎三司
山形県	上山市消防団	団長	菅沼誠
〃	鶴岡市消防団	副団長	菅沼誠
〃	三川町消防団	副団長	大滝勝
〃	鶴岡市消防団	副団長	粕谷明
〃	村山市消防団	副団長	見玉進
〃	鮭川村消防団	副団長	小笠原義
〃	長井市消防団	副団長	阿部忠
〃	尾花沢市消防団	分団長	阿部浮博
〃	酒田市消防団	分団長	阿部之
〃	米沢市消防団	分団長	石附剛
〃	鶴岡市消防団	分団長	垣根貢
〃	飯豊町消防団	分団長	伊藤幸夫
〃	酒田市消防団	分団長	伊藤今井
〃	金山町消防団	分団長	大場浮
〃	中山町消防団	分団長	土藤信

都道府県名	所属	階級	氏名
山形県	最上町消防団	分団長	後藤秋好
〃	遊佐町消防団	分団長	齋藤均
〃	戸沢村消防団	分団長	齋藤光夫
〃	大蔵村消防団	分団長	佐藤和男
〃	西川町消防団	分団長	佐藤正
〃	酒田市消防団	分団長	佐藤豊
〃	酒田市消防団	分団長	庄司仁
〃	河北町消防団	分団長	砂田祐司
〃	遊佐町消防団	分団長	土門洋
〃	最上町消防団	分団長	三浦守
〃	酒田市消防団	分団長	三浦武司
〃	酒田市消防団	分団長	村上男
〃	南陽市消防団	分団長	山口真市
〃	大江町消防団	分団長	渡邊厚
〃	小国町消防団	分団長	渡部義満
〃	山形市消防団	副分団長	齋藤良一
〃	酒田市消防団	副分団長	田中広志
〃	大石町消防団	副分団長	富部也
〃	新庄市消防団	部長	阿部智
〃	真室川町消防団	部長	高橋孝功
〃	新庄市消防団	部長	野木孝健
〃	小国町消防団	団員	飯沢幸三
〃	舟形町消防団	団員	伊藤光信
〃	山形市消防団	団員	鈴木薫
〃	東根市消防団	団員	高橋賢一
福島県	下郷町消防団	副団長	五十嵐正

都道府県名	所属	階級	氏名
福島県	南相馬市消防団	副団長	片岡芳廣
〃	只見町消防団	副団長	三瓶一也
〃	郡山市消防団	副団長	高田吉造
〃	矢祭町消防団	副団長	高橋山男
〃	南会津町消防団	副団長	南見見夫
〃	南相馬市消防団	副団長	伏見頼栄
〃	二本松市消防団	副団長	松坂坂夫
〃	郡山市消防団	副団長	田村社仁
〃	猪苗代町消防団	副団長	六角武志
〃	郡山市消防団	副団長	渡邊賢浩
〃	鮫川村消防団	副団長	渡邊浩佳
〃	田村市消防団	副団長	渡邊幸一
〃	相馬市消防団	分団長	荒瀬康雄
〃	会津若松市消防団	分団長	井上弘
〃	西会津町消防団	分団長	薄田真
〃	いわき市消防団	分団長	大竹貞雄
〃	伊達市消防団	分団長	金子孝博
〃	桑折町消防団	分団長	菅野義男
〃	白河市消防団	分団長	君島正信
〃	下郷町消防団	分団長	木村政弘
〃	いわき市消防団	分団長	水野村健
〃	いわき市消防団	分団長	草野孝平
〃	いわき市消防団	分団長	国井康彦
〃	福島市消防団	分団長	河野政彦
〃	鮫川村消防団	分団長	小嶋勝
〃	西会津町消防団	分団長	齋藤之

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
福島県	喜多方市消防団	分団長	齋藤 誠	福島県	橋本町消防団	副分団長	遠藤 正二
〃	伊達市消防団	分団長	佐藤 勝弘	〃	福島市消防団	副分団長	川野 文夫
〃	富岡町消防団	分団長	水本 博幸	〃	飯館村消防団	副分団長	笠野 三夫
〃	いわき市消防団	分団長	鈴木 邦夫	〃	昭和村消防団	副分団長	笠野 三三
〃	柳津町消防団	分団長	鈴木 東作	〃	会津若松市消防団	副分団長	慶徳 弘一
〃	いわき市消防団	分団長	鈴木 良次	〃	福島市消防団	副分団長	佐々木 秀之
〃	田村市消防団	分団長	先崎 晋一	〃	西会津町消防団	副分団長	嶋田 仁男
〃	会津若松市消防団	分団長	高橋 祐輔	〃	いわき市消防団	副分団長	鈴木 好男
〃	いわき市消防団	分団長	丹野 正彦	〃	喜多方市消防団	副分団長	月岡 貴美人
〃	喜多方市消防団	分団長	中野 克弘	〃	いわき市消防団	副分団長	芳賀 房幸
〃	会津美里町消防団	分団長	水本 浩三	〃	伊達市消防団	副分団長	森 信幸
〃	西会津町消防団	分団長	長谷川 辰男	〃	いわき市消防団	副分団長	柳井 行雄
〃	昭和村消防団	分団長	馬場 修一	〃	いわき市消防団	副分団長	鈴木 秀吉
〃	伊達市消防団	分団長	引地 秀樹	茨城県	高萩市消防団	団長	作山 吉平
〃	南会津町消防団	分団長	星野 勝明	〃	坂東市消防団	副団長	飯田 一男
〃	石川町消防団	分団長	前田 茂一	〃	鉾田市消防団	副団長	井川 栄一
〃	南会津町消防団	分団長	本杉 佳一	〃	つくば市消防団	副団長	大橋 弘一
〃	いわき市消防団	分団長	森田 誠富	〃	常陸太田市消防団	副団長	酒井 一男
〃	いわき市消防団	分団長	吉本 誠一	〃	つくばみらい市消防団	副団長	酒井 一男
〃	相馬市消防団	分団長	米本 薫	〃	神橋市消防団	副団長	椎名 正一
〃	双葉町消防団	分団長	渡辺 浩美	〃	守谷市消防団	副団長	椎名 正一
〃	いわき市消防団	副分団長	曾田 哲之	〃	常陸大宮市消防団	副団長	塩澤 泉一
〃	中島村消防団	副分団長	倉本 健二	〃	美浦村消防団	副団長	山下 盛一
〃	三島町消防団	副分団長	五十嵐 健二	〃	つくば市消防団	副団長	田村 盛一
〃	いわき市消防団	副分団長	梅川 秀明	〃	かずみがうら市消防団	副団長	中山 雄一
〃	いわき市消防団	副分団長	遠藤 重和	〃	八千代町消防団	副団長	羽島 昭一

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
茨城県	筑西市消防団	副団長	宮川 昌己	埼玉県	長瀨町消防団	団長	鹿野 達也
〃	水戸市消防団	副団長	渡辺 勝男	〃	菅野町消防団	団長	佐藤 彰彰
〃	常陸大宮市消防団	分団長	寺門 一夫	〃	川越市消防団	団長	井川 達也
〃	日立市消防団	部長	弓野 行男	〃	本庄市消防団	団長	野口 浩一
栃木県	佐野市消防団	副団長	相田 泰司	〃	志木市消防団	副団長	石川 正一
〃	宇都宮市消防団	副団長	鎌倉 健一	〃	三郷市消防団	副団長	石出 忠正
〃	日光市日光消防団	副団長	小林 英夫	〃	熊谷市消防団	副団長	柿沼 貞雄
〃	日光市栗山消防団	副団長	手塚 廣一	〃	本庄市消防団	副団長	若菜 美治
〃	小山市消防団	副団長	信末 正雄	〃	松伏町消防団	副団長	小金井 勝則
〃	足利市消防団	副団長	樋口 泰正	〃	熊谷市消防団	副団長	原口 健二
〃	日光市足尾消防団	副団長	松島 光夫	〃	秩父市消防団	副団長	野口 宣夫
〃	栃木市消防団	副団長	和賀井 祥男	〃	蓮田市消防団	副団長	山口 実一
群馬県	吉岡町消防団	団長	小田原 初男	〃	比企広城市町村圏組合東松山消防団	副団長	藤原 武志
〃	片品村消防団	団長	小林 政彦	〃	桶川市消防団	副団長	渡邊 三雄
〃	神流町消防団	団長	横井 利幸	〃	草加市消防団	分団長	貫立 一男
〃	高崎市消防団	副団長	五十嵐 光春	〃	さいたま市消防団	分団長	足立 由松
〃	館林地区消防組合消防団邑楽消防団	副団長	大塚 栄彦	〃	比企広城市町村圏組合東松山消防団	分団長	新井 進一
〃	沼田市消防団	副団長	齋田 一夫	〃	戸田市消防団	分団長	宇津野 三郎
〃	富岡市消防団	副団長	高橋 栄一	〃	草加市消防団	分団長	岡田 三郎
〃	渋川市消防団	副団長	田子 英一	〃	春日部市春日部消防団	分団長	岡村 久人
〃	館林地区消防組合消防団館林消防団	副団長	服部 小覚	〃	さいたま市消防団	分団長	折原 賢治
〃	前橋市消防団	副団長	折原 政彦	〃	白岡市消防団	分団長	折原 春男
〃	桐生市消防団	分団長	岡地 三男	〃	川口市消防団	分団長	加藤 和寛
〃	みどり市消防団	分団長	小林 弘之	〃	熊谷市消防団	分団長	久保 正美
〃	草津町消防団	分団長	早川 信之	〃	さいたま市消防団	分団長	井井 茂夫
〃	安中市消防団	分団長	堀越 良一	〃	行田市消防団	分団長	白田 啓介

都道府県名	所属	階級	氏名
埼玉県	川口市消防団	分団長	田中賢司
	〃 草加市消防団	分団長	戸塚康夫
	〃 さいたま市消防団	分団長	中野清誠
	〃 春日部市庄和消防団	分団長	中名倉清之
	〃 鴻巣市消防団	分団長	成塚芳久
	〃 幸手市消防団	分団長	堀中裕一
	〃 熊谷市消防団	分団長	増田克己
	〃 白岡市消防団	分団長	松本利明
	〃 川口市消防団	分団長	吉田孝孝
	〃 越谷市消防団	副分団長	志賀勝好
	〃 宮代町消防団	副分団長	鈴木敏男
	〃 草加市消防団	副分団長	内藤一夫
	〃 上尾市消防団	班長	松井光一
	〃 さいたま市消防団	団員	中村秀樹
	〃 さいたま市消防団	団員	中村秀樹
千葉県	木更津市消防団	団長	竹内克成
	〃 君津市消防団	団長	松崎良成
	〃 大網白里市消防団	団長	毛利清一
	〃 南房総市消防団	副団長	加藤英樹
	〃 鴨川市消防団	副団長	金高浩一
	〃 神崎町消防団	副団長	瀬宮栄治
	〃 いすみ市消防団	副団長	高橋聡一
	〃 市川市消防団	副団長	中野伸幸
	〃 長生郡市広域市町村圏組合消防団	副団長	田中進茂
	〃 東金市消防団	副団長	田嶋千治
〃 船橋市消防団	副団長	土橋敬治	

都道府県名	所属	階級	氏名
千葉県	松戸市消防団	副団長	日暮勝彦
	〃 市川市消防団	副団長	増田謙彦
	〃 市原市消防団	副団長	野澤孝光
	〃 千葉市消防団	副団長	野井兼光
	〃 佐倉市消防団	副団長	山本等志
	〃 館山市消防団	副団長	吉野隆志
	〃 千葉市消防団	副団長	渡辺博博
	〃 野田市消防団	分団長	飯田芳彦
	〃 四街道市消防団	分団長	石渡清志
	〃 成田市消防団	分団長	伊藤昌志
	〃 成田市消防団	分団長	若立隆一
	〃 八街市消防団	分団長	小川喜敬
	〃 勝浦市消防団	分団長	井田謙一
	〃 富里市消防団	分団長	高橋清一
	〃 山武市消防団	分団長	高橋清一
〃 流山市消防団	分団長	廣木克之	
〃 山武市消防団	分団長	緑川勝一	
〃 我孫子市消防団	分団長	田野一夫	
〃 四街道市消防団	班長	大野豊	
〃 栄町消防団	班長	杉田和夫	
〃 印西市消防団	団員	飯塚幹夫	
〃 八千代市消防団	団員	岩井浩通	
〃 栄町消防団	団員	藤原正幸	
〃 佐倉市消防団	団員	高島正芳	
東京都	田園調布消防団	団長	五十嵐勝夫
	奥多摩町消防団	団長	勝山夫

都道府県名	所属	階級	氏名
東京都	瑞穂町消防団	団長	吉川宗昭
	〃 町田市消防団	副団長	青木正光
	〃 日本堤消防団	副団長	飯島秀男
	〃 品川消防団	副団長	井口邦彦
	〃 足立消防団	副団長	石井作平
	〃 王子消防団	副団長	石田誠志
	〃 昭島市消防団	副団長	岩崎盛之
	〃 池袋消防団	副団長	上原久美子
	〃 臨港消防団	副団長	花原美一
	〃 府中市消防団	副団長	大久保幸一
	〃 赤羽消防団	副団長	小片徳之
	〃 武蔵野市消防団	副団長	奥山正則
	〃 四谷消防団	副団長	加古三雅
	〃 矢口消防団	副団長	北嶋智弘
	〃 尾久消防団	副団長	栗山日出夫
	〃 荒川消防団	副団長	荒川慶正昭
	〃 日野市消防団	副団長	小峰敏夫
	〃 小岩消防団	副団長	小宮敏昭
	〃 新宿消防団	副団長	齋藤明
	〃 蒲田消防団	副団長	佐藤光男
〃 芝消防団	副団長	穴倉健一	
〃 西新井消防団	副団長	篠原弘治	
〃 日本橋消防団	副団長	志村榮一	
〃 深川消防団	副団長	志村光美	
〃 本田消防団	副団長	白井俊一	
〃 麩町消防団	副団長	鈴木裕	

都道府県名	所属	階級	氏名
東京都	上野消防団	副団長	竹井義祐
	〃 杉並消防団	副団長	内藤和隆
	〃 本所消防団	副団長	行橋信行
	〃 牛込消防団	副団長	中野村功一
	〃 東久留米市消防団	副団長	中西正志
	〃 志村消防団	副団長	西野嘉志
	〃 世田谷消防団	副団長	根岸博
	〃 中野消防団	副団長	野村幸雄
	〃 八王子市消防団	副団長	橋本孝一
	〃 千住消防団	副団長	羽田美樹
	〃 練馬消防団	副団長	廣田武雄
	〃 玉川消防団	副団長	三田義久
	〃 大井消防団	副団長	武藤俊二
	〃 野方消防団	副団長	藤下修弘
	〃 目黒消防団	副団長	山内勇一
	〃 三鷹市消防団	副団長	吉野保清
	〃 板橋消防団	副団長	渡邊弘明
	〃 石神井消防団	分団長	榎本良一
	〃 小石川消防団	分団長	大屋正義
	〃 大森消防団	分団長	小根澤孝一
〃 豊島消防団	分団長	片山義安	
〃 京橋消防団	分団長	小林幸雄	
〃 光が丘消防団	分団長	佐久間善一	
〃 本郷消防団	分団長	佐原米治	
〃 成城消防団	分団長	高島田秀昭	
〃 城東消防団	分団長	高橋規夫	

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
東京都	渋谷消防団	分団長	田口 敬 臣	神奈川県	松田町消防団	副団長	矢崎 吉一
〃	滝野川消防団	分団長	戸波 清 隆	〃	横浜市泉消防団	分団長	安井 西史
〃	金町消防団	分団長	戸室 昇 昇	〃	川崎市多摩消防団	分団長	池谷 旗二
〃	麻布消防団	分団長	福沢 豊 治	〃	横浜市港北消防団	分団長	市川 晋 夫
〃	江戸川消防団	分団長	福富 嘉 宣	〃	横浜市瀬谷消防団	分団長	伊藤 藤 彦
〃	神田消防団	分団長	森本 謙 謙	〃	横浜市山手消防団	分団長	遠藤 井 芳 春
〃	三宅村消防団	分団長	山田 州 男	〃	川崎市麻生消防団	分団長	若林 昭一郎
〃	浅草消防団	分団長	若林 昭一郎	〃	川崎市中原消防団	分団長	和田 恭 忠
〃	荻窪消防団	分団長	和田 恭 忠	〃	川崎市宮前消防団	分団長	城所 勇 男
〃	赤坂消防団	副分団長	城所 勇 男	〃	横浜市緑消防団	分団長	富井 福重郎
〃	向島消防団	副分団長	富井 福重郎	〃	横浜市伊勢佐木消防団	分団長	林 薫 薫
〃	荏原消防団	副分団長	林 薫 薫	〃	秦野市消防団	分団長	山口 雄 雄
〃	高輪消防団	副分団長	山口 雄 雄	〃	横浜市西消防団	分団長	室山 勲 勲
〃	葛西消防団	副分団長	室山 勲 勲	〃	横浜市旭消防団	分団長	大津 政 美
神奈川県	横浜市港南消防団	団長	大津 政 美	〃	横浜市鶴見消防団	分団長	平野 佳 一
〃	逗子市消防団	団長	平野 佳 一	〃	横須賀市消防団	分団長	大井 勝 則
〃	鎌倉市消防団	副団長	大井 勝 則	〃	横浜市神奈川消防団	分団長	大船 道 男
〃	松田町消防団	副団長	大船 道 男	〃	横浜市幸消防団	分団長	奥田 利 一
〃	横浜市金沢消防団	副分団長	奥田 利 一	〃	横浜市戸塚消防団	分団長	小澤 雄 一
〃	平塚市消防団	副団長	小澤 雄 一	〃	川崎市臨港消防団	分団長	黒木 竜 郎
〃	相模原市消防団	副団長	黒木 竜 郎	〃	川崎市川崎消防団	分団長	志村 裕 之
〃	箱根町消防団	副団長	志村 裕 之	〃	横浜市保土ヶ谷消防団	分団長	高田 一 義
〃	横浜市加賀町消防団	副団長	高田 一 義	〃	横浜市磯子消防団	分団長	中村 和 久
〃	小田原市消防団	副団長	中村 和 久	〃	真鶴町消防団	分団長	原 和 彦
〃	相模原市消防団	副団長	原 和 彦	〃	厚本市消防団	分団長	持田 裕 彦
〃	川崎市高津消防団	副団長	持田 裕 彦	〃	横浜市都筑消防団	分団長	

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
神奈川県	横浜市南消防団	分団長	廣瀬 征 夫	新潟県	村上市消防団	副団長	田嶋 三 芳
〃	横須賀市消防団	分団長	武藤 辰 夫	〃	長岡市消防団	副団長	田中 仁 仁
〃	横須賀市消防団	分団長	森川 久 久	〃	南魚沼市消防団	副団長	千喜 良 修
〃	横浜市青葉消防団	分団長	横溝 尚 樹	〃	新潟市消防団	副団長	中川 充 充
〃	藤沢市消防団	副分団長	藤 正 雄	〃	長岡市消防団	副団長	野形 政 好
〃	大和市消防団	副分団長	小菅 教 雄	〃	佐渡市消防団	副団長	野田 政 好
〃	横浜市栄消防団	副分団長	椿 重 雄	〃	三条市消防団	副団長	長谷川 仁 仁
〃	海老名市消防団	副分団長	西海 幸 弘	〃	新潟市消防団	副団長	平井 巳 一
〃	松田町消防団	部長	石井 元 元	〃	糸魚川市消防団	分団長	青代 建 一
〃	大和市消防団	班長	保田 文 己	〃	長岡市消防団	分団長	飯浜 照 賢
〃	藤沢市消防団	団員	伊藤 勝 治	〃	新潟市消防団	分団長	五十嵐 賢 治
〃	茅ヶ崎市消防団	団員	大澤 清 清	〃	上越市消防団	分団長	池亀 清 孝
〃	小田原市消防団	団員	加藤 福 志	〃	十日町市消防団	分団長	岩田 志 志
〃	藤沢市消防団	団員	小嶋 智 行	〃	十日町市消防団	分団長	江口 正 明
〃	藤沢市消防団	団員	坂本 信 博	〃	柏崎市消防団	分団長	小野 勇 男
〃	茅ヶ崎市消防団	団員	池田 博 樹	〃	柏崎市消防団	分団長	小川 善 明
〃	藤沢市消防団	団員	平井 順 一	〃	佐渡市消防団	分団長	川上 善 明
新潟県	妙高市消防団	副団長	相羽 浩 一	〃	田上町消防団	分団長	川口 之 之
〃	見附市消防団	副団長	大関 勝 義	〃	新潟市消防団	分団長	川崎 良 和
〃	佐渡市消防団	副団長	菊地 幸 夫	〃	新潟市消防団	分団長	近江 口 郎
〃	新潟市消防団	副団長	菊竹 敏 夫	〃	新潟市消防団	分団長	木 近 英 一
〃	上越市消防団	副団長	酒井 義 仁	〃	新潟市消防団	分団長	齋藤 康 紀
〃	長岡市消防団	副団長	野村 義 文	〃	糸魚川市消防団	分団長	佐藤 清 文
〃	阿賀町消防団	副団長	清田 正 文	〃	南魚沼市消防団	分団長	関 弘 文
〃	五泉市消防団	副団長	関 弘 文	〃	新発田市消防団	分団長	高澤 聡 一
〃	十日町市消防団	副団長	高野 明 一	〃	湯沢町消防団	分団長	高野 見 一

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名			
新潟県	魚沼市消防団	分団長	仲丸正剛	富山県	黒部市消防団	分団長	越湖良一			
	〃 小千谷市消防団	分団長	羽島直廣		〃 富山市消防団	分団長	奥三三三			
	〃 佐渡市消防団	分団長	平廣		〃 富山市消防団	分団長	小藤謙三			
	〃 長岡市消防団	分団長	眞高武夫		〃 魚津市消防団	分団長	山下孝志			
	〃 十日町市消防団	分団長	丸山浩志		〃 高岡市消防団	分団長	田所所制			
	〃 佐渡市消防団	分団長	三浦善弘		〃 富山市消防団	分団長	中井明夫			
	〃 糸魚川市消防団	分団長	水沼敬		〃 射水市消防団	分団長	長谷川正美			
	〃 柏崎市消防団	分団長	村山忠昭		〃 魚津市消防団	分団長	肥塚宗一			
	〃 加茂市消防団	分団長	山田喜良		〃 射水市消防団	分団長	廣田恭一			
	〃 津南町消防団	分団長	山田幸作		〃 朝日町消防団	分団長	廣橋博			
	〃 新潟市消防団	分団長	吉川周市		〃 立山町消防団	分団長	水喜上喜博			
	〃 柏崎市消防団	副分団長	井上忠夫		〃 射水市消防団	分団長	菅崎喜雄			
	〃 柏崎市消防団	副分団長	丹澤正		〃 射水市消防団	分団長	室谷明雄			
	〃 十日町市消防団	副分団長	室長勇雄		〃 高岡市消防団	分団長	柳瀬和幸			
	〃 胎内市消防団	班長	長谷川重三		〃 上市町消防団	分団長	柳瀬和幸			
	富山県	富山市消防団	副団長		金木重弘	石川県	かほく市消防団	団長	西山正守	
〃 富山市消防団		副団長	北野弘信	〃 白山市南消防団	副団長		小西正			
〃 射水市消防団		副団長	野兼之	〃 中能登町消防団	副団長		小田島庄造			
〃 射水市消防団		副団長	多田修二	〃 小松市消防団	副団長		田西清明			
〃 高岡市消防団		副団長	中田和	〃 小松市消防団	副団長		田西清明			
〃 舟橋村消防団		副団長	明和	〃 津幡町消防団	副団長		南信広			
〃 水見市消防団		分団長	新川優次	〃 羽咋市消防団	副団長		村来雄			
〃 高岡市消防団		分団長	荒木俊樹	〃 穴水町消防団	副団長		田崎直正			
〃 富山市消防団		分団長	坂政直	〃 七尾市第1消防団	分団長		岡島明一			
〃 立山町消防団		分団長	石範昭	〃 輪島市消防団	分団長		小島明一			
〃 富山市消防団		分団長	宇津茂稔	〃 金沢市第一消防団	分団長		酒尾良一			
石川県		七尾市第1消防団	分団長	本田裕昭	長野県		長野市消防団	副団長	江口之	
		〃 加賀市消防団	分団長	松山昭治			〃 松本市消防団	副団長	上條裕幸	
		〃 珠洲市消防団	団員	表精一			〃 木曾町消防団	副団長	田中賢治	
		福井県	若狭消防組合高浜消防団	団長			山根正敬	〃 長野市消防団	副団長	土屋弘貴
			〃 永平寺町消防団	副団長			鈴木英勝	〃 上田市消防団	副団長	福吉賢治
	〃 福井市消防団		副団長	松下英勝		〃 木曾町消防団	副団長	古橋克明		
	〃 嶺北消防組合あわら消防団		副団長	山口和夫		〃 松本市消防団	副団長	宮坂明		
	〃 南越消防組合南越前消防団		分団長	飯田十代治		〃 塩尻市消防団	副団長	宮吉賢一		
	〃 勝山市消防団		分団長	石橋良一		〃 佐久市消防団	分団長	宮松上昭		
	〃 鯖江・丹生消防組合鯖江消防団		分団長	佐々木敬一郎		〃 軽井沢町消防団	分団長	石本良		
	〃 福井市消防団		分団長	佐々木未智		〃 岡谷市消防団	分団長	堀本千春		
	〃 若狭消防組合上中消防団		分団長	田中靖浩		〃 松本市消防団	分団長	堀田義彦		
	〃 大野市消防団		分団長	林小太郎		〃 長野市消防団	分団長	山口雄		
	山梨県		山梨市消防団	団長		山中親次	〃 長野市消防団	団員	木田生一	
			〃 大月市消防団	副団長		天野秀男	〃 中野市消防団	団員	池田信	
			〃 上野原市消防団	副団長		長田秋勇	〃 長野市消防団	団員	和田信夫	
〃 道志村消防団			副団長	山口元	岐阜県	美濃加茂市消防団	団長	佐谷司示		
〃 上野原市消防団			分団長	小俣哲司		〃 中津川市消防団	副団長	伊藤章		
〃 上野原市消防団			分団長	兼坂義雄		〃 各務原市消防団	副団長	伊藤章		
〃 甲斐市消防団		分団長	菊原浩	〃 郡上市消防団		副団長	今尾幸夫			
〃 甲府市消防団		分団長	子野香	〃 多治見市消防団		副団長	大塚修			
〃 甲府市消防団		分団長	日向功	〃 大垣市消防団		副団長	大塚修			
〃 北杜市消防団		副分団長	長田靖	〃 中津川市消防団		副団長	大塚修			
長野県		信濃町消防団	団長	佐藤正		〃 飛騨市消防団	副団長	金井久長		
		〃 安曇野市消防団	団長	細田佳司		〃 郡上市消防団	副団長	藤田昌範		
		〃 王滝村消防団	団長	藤本直大						

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
岐阜県	中津川市消防団	副団長	川瀬 俊作	静岡県	静岡市消防団	副団長	望月 泰伸
◇	下呂市消防団	副団長	河原 克也	◇	富士市消防団	分団長	川口 清美
◇	飛騨市消防団	副団長	北尾 逸朗	◇	静岡市消防団	分団長	川崎 久雄
◇	下呂市消防団	副団長	佐古 成彦	◇	焼津市消防団	分団長	藤谷 泰生
◇	関ヶ原町消防団	副団長	相模 嘉史	◇	富士市消防団	分団長	原 睦勇
◇	高山市消防団	副団長	長瀬 浩人	◇	富士市消防団	分団長	望月 人己
◇	関市消防団	副団長	長屋 利文	◇	沼津市消防団	分団長	樫山 勝己
◇	恵那市消防団	副団長	高尾 高司	◇	静岡市消防団	分団長	若月 光弘
◇	恵那市消防団	副団長	西尾 久人	◇	三島市消防団	団員	林 和彦
◇	岐阜市北消防団	副団長	西垣 安久	◇	三島市消防団	団員	廣川 雄之
◇	海津市消防団	副団長	西脇 功等	◇	藤枝市消防団	団員	村田 政美
◇	中津川市消防団	副団長	原 南	愛知県	名古屋市長針消防団	団長	浅井 好美
◇	下呂市消防団	副団長	見廣 南	◇	名古屋市見付消防団	団長	辻 龍彦
◇	中津川市消防団	副団長	見田 晃	◇	名古屋市長久保消防団	団長	社本 好彦
◇	飛騨市消防団	分団長	大田 耕司	◇	名古屋市長久保消防団	団長	高岸 好志
◇	本巣市消防団	分団長	川口 初重	◇	名古屋市長久保消防団	団長	高岸 好志
◇	多治見市消防団	分団長	川地 博	◇	岡崎市本宿消防団	団長	徳田 進久
◇	飛騨市消防団	分団長	清水 新一	◇	名古屋市長久保消防団	団長	中野 勝久
◇	飛騨市消防団	分団長	清水 俊一	◇	名古屋市長久保消防団	団長	中野 勝久
◇	岐阜市中消防団	分団長	清水 士	◇	名古屋市長久保消防団	団長	中野 勝久
◇	高山市消防団	分団長	中嶋 登	◇	名古屋市長久保消防団	団長	中野 勝久
◇	掛斐川町消防団	分団長	平野 克彦	◇	岡崎市三島消防団	団長	見谷 武治
◇	養老町消防団	分団長	吉田 美智彦	◇	岡崎市福岡消防団	団長	八村 浩之
静岡県	富士市消防団	副団長	藤光 広広	◇	名古屋市長久保消防団	団長	木山 照明
◇	松崎町消防団	副団長	後 育正	◇	津島市消防団	副団長	猪飼 佳英
◇	熱海市消防団	副団長	櫻井 佳久	◇	常滑市消防団	副団長	伊藤 正光

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
愛知県	小牧市消防団	副団長	舟橋 隆夫	三重県	津市消防団	分団長	中尾 和典
◇	清須市消防団	分団長	岩戸 薫	◇	伊勢市消防団	分団長	中瀬 清遊
◇	清須市消防団	分団長	樽田 一郎	◇	桑名市消防団	分団長	村松 正道
◇	西尾市一色消防団	分団長	樽田 三宅博己	◇	桑名市消防団	分団長	福田 正道
◇	瀬戸市消防団	副分団長	三浦 成治	◇	東員町消防団	分団長	福谷 美博
◇	豊山町消防団	副分団長	稲垣 正人	◇	伊勢市消防団	副分団長	坂本 博
◇	一宮市消防団	副分団長	益満 美喜男	◇	鈴鹿市消防団	副分団長	長谷川 廣
◇	江南市消防団	部長	中山 栄	◇	紀宝町消防団	副分団長	足嶋 俊博
◇	豊山町消防団	部長	山田 敏文	◇	松阪市消防団	副分団長	丸山 芳春
◇	一宮市消防団	団員	安井 克己	◇	四日市市消防団	副分団長	三谷 新市
◇	一宮市消防団	団員	井 藤彦	◇	伊勢市消防団	団員	小山田 弘
◇	安城市消防団	団員	後藤 浩之	◇	伊賀市消防団	団員	山岡 寛明
◇	半田市消防団	団員	薄田 修治	滋賀県	大津市消防団	副団長	若石 善太郎
◇	半田市消防団	団員	新海 由男	◇	湖南市消防団	副団長	井上 幸太郎
◇	一宮市消防団	団員	杉山 昭久	◇	栗東市消防団	副団長	大田 政男
◇	一宮市消防団	団員	永井 義久	◇	高島市消防団	副団長	天村 勇二
◇	豊田市消防団	団員	本田 俊宏	◇	彦根市消防団	副団長	北村 耕二
三重県	四日市市消防団	団長	伊藤 忠夫	◇	彦根市消防団	副団長	北村 耕二
◇	亀山市消防団	副団長	伊藤 秀治	◇	大津市消防団	副団長	小林 孝一
◇	志摩市消防団	副団長	小川 清彦	◇	草津市消防団	副団長	駒井 喜行
◇	尾鷲市消防団	副団長	高木 宗彦	◇	大津市消防団	副団長	駒井 喜行
◇	鈴鹿市消防団	分団長	飯田 秀治	◇	彦根市消防団	副団長	関 新一郎
◇	熊野市消防団	分団長	大谷 友晴	◇	長浜市消防団	副団長	角川 茂茅
◇	紀宝町消防団	分団長	大門 賢	◇	大津市消防団	副団長	船橋 克典
◇	四日市市消防団	分団長	坂倉 次雄	◇	野洲市消防団	副団長	森 良基
◇	熊野市消防団	分団長	本吉 也	京都府	舞鶴市西消防団	団長	森 良裕明

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
京都府	城陽市消防団	団長	水野 明弘	大阪府	阪南市消防団	副団長	竹中 幸彦
〃	与謝野町消防団	副団長	有本 誠	〃	交野市消防団	副団長	西村 豊彦
〃	笠置町消防団	副団長	大賀 往勇	〃	豊中市消防団	副団長	宮野 山陽
〃	京都市南消防団	副団長	西本 繁広	〃	箕面市消防団	副団長	山脇 武志
〃	京丹後市消防団	副団長	小谷 義隆	〃	和泉市消防団	副団長	米田 宏宏
〃	伊根町消防団	副団長	村上 亨	〃	堺市美原消防団	副団長	藤田 利一
〃	南山城村消防団	副団長	木村 宣	〃	泉南市消防団	分団長	赤井 浩一
〃	久御山町消防団	副団長	村和 弘	〃	門真市消防団	分団長	若田 隆正
〃	京都市北消防団	分団長	浅田 善夫	〃	東大阪市消防団	分団長	亀井 正美
〃	京都市中京消防団	分団長	市川 博敏	〃	島本町消防団	分団長	小林 則之
〃	京都市中京消防団	分団長	井上 美	〃	松原市消防団	分団長	小川 隆
〃	京都市山科消防団	分団長	上村 生	〃	河内長野市消防団	分団長	浪谷 氏
〃	宇治市消防団	分団長	切地 祥郎	〃	泉南市消防団	分団長	西川 良夫
〃	福知山市消防団	分団長	桐本 章	〃	四條畷市消防団	分団長	西井 善隆
〃	京都市左京消防団	分団長	椎村 高明	〃	河内町消防団	分団長	藤井 善隆
〃	京都市北消防団	分団長	田鶴 均	〃	羽曳野市消防団	分団長	山内 作
〃	京都市伏見消防団	分団長	辻 雅	〃	高槻市消防団	副分団長	大西 庄
〃	京都市東山消防団	分団長	菅 孝	〃	枚方市消防団	副分団長	定規 政
〃	木津川市消防団	分団長	森 博史	〃	茨木市消防団	副分団長	中井 康政
〃	京田辺市消防団	団員	森 高男	〃	高槻市消防団	副分団長	西城 治也
大阪府	吹田市消防団	副団長	石川 博二	〃	豊中市消防団	部長	中井 保彦
〃	豊中市消防団	副団長	久保田 二男	〃	豊中市消防団	部長	中井 保彦
〃	箕面市消防団	副団長	久保田 二男	〃	摂津市消防団	班長	中井 伸作
〃	能勢町消防団	副団長	小谷 幸夫	〃	枚方市消防団	団員	門河 真治
〃	八尾市消防団	副団長	小松 幸夫	〃	島本町消防団	団員	清水 真治
〃	守口市消防団	副団長	澤井 種夫	〃	寝屋川市消防団	団員	角 純

都道府県名	所属	階級	氏名	都道府県名	所属	階級	氏名
大阪府	寝屋川市消防団	団員	田中 信一	兵庫県	宍粟市消防団	副団長	森内 伸二
〃	箕面市消防団	団員	中井 基一	〃	芦屋市消防団	副団長	岡本 忍
〃	豊能町消防団	団員	岡井 亮	〃	神戸市垂水消防団	副団長	八木 謙一
兵庫県	南あわじ市消防団	団長	大谷 毅	〃	神戸市北消防団	副団長	山田 守男
〃	豊岡市但東消防団	副団長	石田 一	〃	丹波市消防団	副団長	横井 晃
〃	佐用町消防団	副団長	野田 晃	〃	神戸市北消防団	副団長	尾藤 伸一
〃	丹波市消防団	副団長	萩野 克己	〃	姫路市姫路西消防団	分団長	池内 剛
〃	赤穂市消防団	副団長	籠谷 隆	〃	姫路市姫路東消防団	分団長	井上 英道
〃	尼崎市消防団	副団長	村上 照	〃	川西市消防団	分団長	今井 伸夫
〃	豊岡市城崎消防団	副団長	岸政 明	〃	赤穂市消防団	分団長	若田 清弘
〃	朝来市消防団	副団長	日下 滋	〃	淡路市消防団	分団長	内田 義
〃	小野市消防団	副団長	小林 基一	〃	相生市消防団	分団長	経子 彦
〃	播磨町消防団	副団長	佐伯 也	〃	姫路市姫路東消防団	分団長	天路 良
〃	養父市消防団	副団長	田中 慎二	〃	淡路市消防団	分団長	尾崎 信生
〃	神戸市東灘消防団	副団長	西浦 喜	〃	尼崎市消防団	分団長	高橋 瑞夫
〃	神戸市西消防団	副団長	二見 晴	〃	三田市消防団	分団長	高橋 勝彦
〃	稲美町消防団	副団長	福島 隆	〃	洲本市消防団	分団長	巽 明彦
〃	西脇市消防団	副団長	藤原 和	〃	養父市消防団	分団長	藤尾 満
〃	佐用町消防団	副団長	船引 一夫	〃	高砂市消防団	分団長	中谷 勝也
〃	香美町消防団	副団長	古岡 敏	〃	西宮市消防団	分団長	中村 和彦
〃	豊岡市豊岡消防団	副団長	細田 俊	〃	香美町消防団	分団長	中西 村敏
〃	猪名川町消防団	副団長	前岡 隆	〃	尼崎市消防団	分団長	橋本 治
〃	淡路市消防団	副団長	堀田 浩	〃	加東市消防団	分団長	細田 秀樹
〃	朝来市消防団	副団長	松野 秀	〃	姫路市姫路西消防団	分団長	藤井 利一
〃	相生市消防団	副団長	三木 秀	〃	加古川市消防団	分団長	藤井 池田
〃	たつの市消防団	副団長	井室 明	〃	太子町消防団	分団長	藤原 幸

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
兵庫県	加古川市消防団	分団長	森田 秀明	奈良県	下市町消防団	副団長	水口 康文
◇	養父市消防団	分団長	安井 卓己	◇	大和郡山市消防団	副団長	吉野 村田
◇	高砂市消防団	分団長	山下 謙司	◇	田原本町消防団	分団長	鎌倉 中
◇	西宮市消防団	分団長	山下 秀春	◇	下北山村消防団	分団長	中 畑 正正
◇	新温泉町消防団	副分団長	大久保 貴津之	和歌山県	印南町消防団	団長	中 畑 光元
◇	明石市消防団	副分団長	岸本 裕之	◇	古座川町消防団	団長	前 田 稔
◇	尼崎市消防団	副分団長	阪本 正治	◇	九度山町消防団	団長	道上 敏夫
◇	宝塚市消防団	団員	石井 幹男	◇	高野町消防団	副団長	栗原 崇
◇	伊丹市消防団	団員	岡本 良一	◇	日高川町消防団	副団長	井原 孝良
◇	川西市消防団	団員	隈部 治	◇	有田川町消防団	副団長	若本 孝之
◇	三木市消防団	団員	小松 恒司	◇	田辺市消防団	副団長	笠松 博之
◇	香美町消防団	団員	小谷 雄夫	◇	田辺市消防団	副団長	久保 明治
奈良県	斑鳩町消防団	団長	清水 正夫	◇	白浜町消防団	副団長	山本 孝男
◇	明日香村消防団	団長	辻本 恵一	◇	有田川町消防団	副団長	柴崎 孝男
◇	天川村消防団	副団長	石崎 豊弥	◇	有田川町消防団	副団長	竹上 昌宏
◇	五條市消防団	副団長	上田 史孝	◇	田辺市消防団	副団長	中谷 裕
◇	王寺町消防団	副団長	越前 康雄	◇	海南市消防団	分団長	池田 卓司
◇	橿原市消防団	副団長	藤橋 清光	◇	海南市消防団	分団長	田端 新田
◇	香芝市消防団	副団長	岸 昌彦	◇	白浜町消防団	分団長	石橋 義史
◇	広陵町消防団	副団長	北村 介剛	◇	田辺市消防団	分団長	榎本 隆文
◇	吉野町消防団	副団長	阪本 喜久雄	◇	古座川町消防団	分団長	岡崎 忠雄
◇	川西市消防団	副団長	竹田 弘	◇	有田川町消防団	分団長	谷田 文夫
◇	奈良市消防団	副団長	中野 貞浩	◇	有田川町消防団	分団長	竹内 豊
◇	大和高田市消防団	副団長	中水 義秋	◇	橋本市消防団	分団長	長沼 千秋
◇	御所市消防団	副団長	藤井 宗光	◇	那智勝浦町消防団	分団長	濱田 佳男
◇	川上村消防団	副団長	松本 博行	◇	橋本市消防団	分団長	古井 友久

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
和歌山県	那智勝浦町消防団	分団長	松本 勉	島根県	安来市消防団	分団長	岩田 千治
◇	海南市消防団	分団長	宮前 誠	◇	益田市消防団	分団長	大谷 寿一
◇	有田川町消防団	副分団長	新田 武正	◇	美郷町消防団	分団長	藤原 孝男
鳥取県	鳥取市消防団	副団長	大川 誠	◇	益田市消防団	分団長	金崎 光光
◇	鳥取市消防団	副団長	金澤 忠誠	◇	益田市消防団	分団長	野川 好和
◇	琴浦町消防団	副団長	坂本 弘	◇	邑南町消防団	分団長	藤原 義和
◇	八頭町消防団	副団長	田中 実夫	◇	浜田市消防団	分団長	佐古 光
◇	境港市消防団	分団長	浅野 重剛	◇	江津市消防団	分団長	澤井 和信
◇	鳥取市消防団	分団長	伊藤 茂	◇	浜田市消防団	分団長	高浦 秀美
◇	米子市消防団	分団長	岡田 隆	◇	大田市消防団	分団長	高木 木
◇	境港市消防団	分団長	木村 廉	◇	飯南町消防団	分団長	岡中 誠二
◇	鳥取市消防団	分団長	篠田 廉	◇	吉賀町消防団	分団長	中田 元
◇	米子市消防団	分団長	杉尾 繁樹	◇	浜田市消防団	分団長	名田 雄
◇	米子市消防団	分団長	瀧川 俊介	◇	益田市消防団	分団長	西坂 剛
◇	米子市消防団	分団長	田口 三博	◇	江津市消防団	分団長	安山 徳一
◇	倉吉市消防団	分団長	福田 博	◇	江津市消防団	分団長	山口 善恵
◇	倉吉市消防団	分団長	米田 幸	◇	邑南町消防団	分団長	山根 文文
島根県	松江市消防団	副団長	池田 晴	◇	津和野町消防団	分団長	吉田 潤
◇	安来市消防団	副団長	神庭 良和	岡山県	鏡野町消防団	副団長	石田 雅樹
◇	雲南市消防団	副団長	妹尾 芳仁	◇	里庄町消防団	副団長	北野 光昭
◇	出雲市消防団	副団長	中筋 志	◇	備前市消防団	副団長	丸山 剛
◇	出雲市消防団	副団長	福向 春	◇	久米南町消防団	副団長	森崎 文
◇	大田市消防団	副団長	新元 樹	◇	津山市消防団	分団長	若谷 三二
◇	益田市消防団	分団長	青木 登	◇	鏡野町消防団	分団長	池田 洋
◇	浜田市消防団	分団長	池田 明	◇	真庭市消防団	分団長	石田 秀泰
◇	浜田市消防団	分団長	石田 孝之	◇	津山市消防団	分団長	石田 泰

都道府県名	所属	階級	氏名
岡山県	総社市消防団	分団長	井田 倫夫
〃	津山市消防団	分団長	井原 申博
〃	岡山市消防団	分団長	西月 博雄
〃	吉備中央町消防団	分団長	大月 徳男
〃	美咲町消防団	分団長	岡田 克典
〃	和気町消防団	分団長	岡田 博文
〃	赤磐市消防団	分団長	岡本 孝学
〃	笠岡市消防団	分団長	小川 八弘
〃	吉備中央町消防団	分団長	小倉 孝男
〃	倉敷市消防団	分団長	小野 和博
〃	赤磐市消防団	分団長	片山 肇
〃	備前市消防団	分団長	金光 勇人
〃	岡山市消防団	分団長	小佐 俊彦
〃	赤磐市消防団	分団長	小坂 真之志
〃	高梁市消防団	分団長	小嶋 知志
〃	美作市消防団	分団長	佐木 孝
〃	岡山市消防団	分団長	佐藤 昭夫
〃	倉敷市消防団	分団長	遠藤 隆
〃	岡山市消防団	分団長	柴田 憲一郎
〃	津山市消防団	分団長	山下 敏男
〃	美咲町消防団	分団長	杉山 卓
〃	美咲町消防団	分団長	平野 賢嗣
〃	美作市消防団	分団長	藤取 勝也
〃	美作市消防団	分団長	藤立 岩夫
〃	倉敷市消防団	分団長	田中 早人
〃	美作市消防団	分団長	田中 靖郎

都道府県名	所属	階級	氏名
岡山県	岡山市消防団	分団長	中西 一広
〃	倉敷市消防団	分団長	野田 澄雄
〃	岡山市消防団	分団長	中野 隆
〃	総社市消防団	分団長	中野 義弘
〃	真庭市消防団	分団長	中野 宗朗
〃	勝央町消防団	分団長	藤本 安人
〃	岡山市消防団	分団長	藤田 知之
〃	備前市消防団	分団長	藤田 幹也
〃	倉敷市消防団	分団長	藤平 幹也
〃	備前市消防団	分団長	藤本 勇
〃	鏡野町消防団	分団長	藤野 知郎
〃	高梁市消防団	分団長	松井 秀樹
〃	総社市消防団	分団長	山見 伊佐雄
〃	岡山市消防団	分団長	山方 代吉
〃	岡山市消防団	分団長	水野 孝治
〃	真庭市消防団	分団長	水谷 正彦
〃	倉敷市消防団	分団長	三宅 仁雄
〃	高梁市消防団	分団長	三宅 正雄
〃	岡山市消防団	分団長	山崎 河毅
〃	新見市消防団	分団長	山崎 信吾
〃	真庭市消防団	分団長	山崎 下豊
〃	新見市消防団	分団長	吉岡 博
〃	新見市消防団	分団長	吉澤 達也
〃	新見市消防団	副分団長	安達 健二
〃	新見市消防団	副分団長	宇佐 権二
〃	和気町消防団	副分団長	宇治橋 靖弘

都道府県名	所属	階級	氏名
岡山県	総社市消防団	副分団長	大杉 勲
〃	備前市消防団	副分団長	岡田 英稔
〃	備前市消防団	副分団長	小川 清彦
〃	高梁市消防団	副分団長	高木 幸彦
〃	新見市消防団	副分団長	小林 信彦
〃	倉敷市消防団	副分団長	近藤 信宣
〃	岡山市消防団	副分団長	佐々木 浩治
〃	備前市消防団	副分団長	箭安 秋夫
〃	高梁市消防団	副分団長	武田 達也
〃	津山市消防団	副分団長	竹内 正史
〃	備前市消防団	副分団長	竹内 隆俊
〃	新見市消防団	副分団長	千香 順司
〃	津山市消防団	副分団長	津菜 信吾
〃	高梁市消防団	副分団長	難波 誠
〃	新見市消防団	副分団長	西川 浩彦
〃	高梁市消防団	副分団長	藤井 哲彦
〃	津山市消防団	副分団長	真木 和典
〃	備前市消防団	副分団長	松本 示
〃	備前市消防団	副分団長	宗吉 秋
〃	津山市消防団	副分団長	湯浅 吉春
広島県	三次市消防団	副団長	大迫 吾雄
〃	三原市消防団	副団長	勝田 勝博
〃	広島市西消防団	副団長	川崎 芳昭
〃	尾道市消防団	副団長	木村 賢治
〃	呉市消防団	副団長	木新 修
〃	東広島市消防団	副団長	柄本 宣行

都道府県名	所属	階級	氏名
広島県	東広島市消防団	副団長	坪井 清一
〃	広島市中消防団	副団長	清水 正
〃	安芸高田市消防団	分団長	富田 好信
〃	呉市消防団	分団長	林田 豊三
〃	東広島市消防団	分団長	大岡 福生
〃	尾道市消防団	分団長	岡野 八郎
〃	北広島町消防団	分団長	小野 田郎
〃	安芸太田町消防団	分団長	小川 信夫
〃	安芸高田市消防団	分団長	川本 照夫
〃	三原市消防団	分団長	木下 俊
〃	広島市安佐南消防団	分団長	木熊 康司
〃	尾道市消防団	分団長	栗田 博
〃	呉市消防団	分団長	小松 功
〃	廿日市市消防団	分団長	迫本 昭
〃	福山市消防団	分団長	藤原 修信
〃	廿日市市消防団	分団長	佐藤 治
〃	大竹市消防団	分団長	白石 光由
〃	尾道市消防団	分団長	鈴木 秀基
〃	安芸高田市消防団	分団長	岡田 克良
〃	江田島市消防団	分団長	武田 昭彦
〃	三次市消防団	分団長	武田 雅彦
〃	廿日市市消防団	分団長	田中 盛彦
〃	江田島市消防団	分団長	田中 廣務
〃	江田島市消防団	分団長	中野 敏
〃	広島市安佐南消防団	分団長	中野 博
〃	呉市消防団	分団長	中野 英雄

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
広島県	呉市消防団	分団長	中 幸 司	広島県	広島市安佐北消防団	部長	本 勇 文
〃	北広島町消防団	分団長	二 井 博 幸	〃	広島市安佐北消防団	班長	谷 口 裕 文
〃	東広島市消防団	分団長	日 谷 智 幸	〃	広島市安佐北消防団	団員	生 田 憲 彦
〃	東広島市消防団	分団長	平 田 政 和	〃	神石高原町消防団	団員	馬 原 隆 之
〃	広島市西消防団	分団長	藤 井 一 三	〃	熊野町消防団	団員	北 村 光 司
〃	広島市安芸消防団	分団長	堀 内 幹 夫	〃	安芸太田町消防団	団員	久 保 利 勝
〃	三原市消防団	分団長	横 本 克 明	〃	安芸太田町消防団	団員	佐 木 正 一
〃	三原市消防団	分団長	横 本 元 富	〃	安芸太田町消防団	団員	佐 木 正 一
〃	呉市消防団	分団長	松 本 和 洋	〃	府中市消防団	団員	佐 藤 勝 彦
〃	東広島市消防団	分団長	宮 迫 和 行	〃	府中市消防団	団員	末 原 一 登
〃	広島市東消防団	分団長	村 田 和 昇	〃	三次市消防団	団員	瀧 口 一 強
〃	呉市消防団	分団長	山 孝 規	〃	安芸太田町消防団	団員	菅 昭 弘
〃	三次市消防団	分団長	湯 浅 豪 一	〃	三次市消防団	団員	越 前 健 一
〃	呉市消防団	分団長	好 川 博 文	〃	神石高原町消防団	団員	吉 見 健 一
〃	竹原市消防団	分団長	吉 野 清 司	山口県	周防大島町消防団	副団長	國 本 達 則
〃	広島市南消防団	副分団長	金 子 治 治	〃	岩国市消防団	副団長	庄 司 道 広
〃	広島市中消防団	副分団長	中 野 村 勝 郎	〃	周防大島町消防団	副団長	中 福 原 忍
〃	呉市消防団	副分団長	野 田 敏 一	〃	周南市消防団	副団長	中 福 和 博
〃	江田島市消防団	副分団長	平 岡 真 一	〃	下関市消防団	副団長	松 川 博 実
〃	三原市消防団	副分団長	平 木 豊 彦	〃	山口市消防団	副団長	松 原 光 城
〃	三原市消防団	副分団長	横 野 敏 則	〃	山口市消防団	副団長	宮 本 啓 一
〃	呉市消防団	副分団長	和 田 孝 志	〃	岩国市消防団	副団長	村 本 克 己
〃	広島市南消防団	部長	木 村 康 則	〃	周防大島町消防団	副団長	藤 本 秀 彦
〃	竹原市消防団	部長	高 橋 秀 樹	〃	周南市消防団	分団長	藤 本 安 達
〃	海田町消防団	部長	種 光 秀 則	〃	宇部市消防団	分団長	安 光 荒 川
〃	広島市南消防団	部長	宮 木 健 治	〃	下関市消防団	分団長	池 田 雄 幸

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
山口県	阿武町消防団	分団長	伊 藤 喜 一	山口県	萩市消防団	分団長	山 根 英 雄
〃	周南市消防団	分団長	大 下 道 則	〃	美祿市消防団	副分団長	池 田 龍 彰
〃	萩市消防団	分団長	和 子 夫 夫	〃	美祿市消防団	副分団長	尾 崎 孝 彰
〃	岩国市消防団	分団長	金 平 正 美	〃	岩国市消防団	部長	小 林 彰 彰
〃	光市消防団	分団長	金 光 神 八郎	〃	岩国市消防団	部長	原 和 彦
〃	下松市消防団	分団長	金 居 孝 人	〃	上関町消防団	班長	岩 原 博 明
〃	岩国市消防団	分団長	川 上 真 一	〃	上関町消防団	班長	新 庄 幸 幸
〃	宇部市消防団	分団長	重 木 真 人	徳島県	鳴門市消防団	副団長	証 誠 晴 晴
〃	山陽小野田市消防団	分団長	末 富 知 知	〃	阿南市消防団	副団長	佐 々 木 正 純
〃	柳井市消防団	分団長	鈴 木 喜 義 行	〃	吉野川市消防団	副団長	住 友 内 寛 男
〃	田布施町消防団	分団長	曾 田 信 行	〃	石井町消防団	副団長	竹 内 富 男
〃	萩市消防団	分団長	高 橋 正 演	〃	三好市東祖谷消防団	副団長	土 井 春 男
〃	萩市消防団	分団長	竹 重 文 男	〃	阿南市消防団	副団長	中 村 昌 彦
〃	柳井市消防団	分団長	立 川 和 雄	〃	上板町消防団	副団長	坂 東 正 晃
〃	防府市消防団	分団長	田 中 賢 道	〃	阿波市消防団	副団長	廣 瀬 本 裕
〃	防府市消防団	分団長	中 村 俊 道	〃	三好市山城町消防団	副団長	松 本 弘 司
〃	防府市消防団	分団長	林 武 義 幸	〃	三好市池田町消防団	副団長	森 脇 利 宗
〃	萩市消防団	分団長	藤 本 俊 幸	〃	東みよし町消防団	副団長	山 田 明 輝
〃	岩国市消防団	分団長	正 鬼 勝 義	〃	海陽町消防団	分団長	池 田 勝 彦
〃	萩市消防団	分団長	松 尾 賢 次	〃	海陽町消防団	分団長	居 敷 昇 昇
〃	宇部市消防団	分団長	松 西 進 吉	〃	美馬市消防団	分団長	猪 内 清 吉
〃	山口市消防団	分団長	松 本 浩 次	〃	牟岐町消防団	分団長	内 山 和 行
〃	宇部市消防団	分団長	三 浦 孝 行	〃	三好市井川町消防団	分団長	天 西 志 志
〃	平生町消防団	分団長	村 田 眞 作	〃	海陽町消防団	分団長	大 東 正 人
〃	山陽小野田市消防団	分団長	山 下 敏 一	〃	美馬西部消防組合消防団	分団長	奥 野 博 一
〃	長門市消防団	分団長	山 下 眞 一	〃	徳島市消防団	分団長	井 上 一 郎

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
徳島県	徳島市消防団	分団長	久米 勝	香川県	まんのう町消防団	分団長	長谷川 博
〃	海陽町消防団	分団長	柴田 俊秀	〃	三豊市消防団	分団長	畑村 則剛
〃	美馬市消防団	分団長	曾川 朝道	〃	東かがわ市消防団	分団長	藤井 友敏
〃	徳島市消防団	分団長	曾園 博史	〃	三豊市消防団	分団長	藤原 啓郎
〃	美馬西部消防組合消防団	分団長	西岡 敏	〃	丸亀市消防団	分団長	松岡 晴雄
〃	海陽町消防団	分団長	野々村 秀治	〃	善通寺市消防団	分団長	菅本 重行
〃	海陽町消防団	分団長	藤末 良	〃	さぬき市消防団	分団長	敷内 保
〃	神山町消防団	分団長	藤井 孝篤	〃	高松市消防団	分団長	山内 一之
〃	海陽町消防団	分団長	藤三 佳展	〃	丸亀市消防団	分団長	山地 淳
〃	阿南市消防団	分団長	三橋 正	〃	高松市消防団	分団長	山吉 明
〃	板野町消防団	団員	三浦 哲	〃	丸亀市消防団	副分団長	山吉 今八
〃	美波町消防団	団員	三浦 利一	〃	さぬき市消防団	副分団長	山吉 八
香川県	三木町消防団	副団長	三浦 憲	〃	丸亀市消防団	部長	三木 健
〃	善通寺市消防団	副団長	三浦 柳	愛媛県	鬼北町消防団	副団長	三浦 健
〃	さぬき市消防団	副団長	三浦 柳	〃	大洲市消防団	副団長	三浦 清
〃	まんのう町消防団	副団長	三浦 孝徳	〃	西条市消防団	副団長	三浦 智
〃	綾川町消防団	副団長	三浦 康之	〃	宇和島市消防団	副団長	三浦 智
〃	直島町消防団	分団長	三浦 光秀	〃	今治市消防団	副団長	三浦 智
〃	三豊市消防団	分団長	三浦 光秀	〃	八幡浜市消防団	副団長	三浦 智
〃	観音寺市消防団	分団長	三浦 光秀	〃	宇和島市消防団	副団長	三浦 智
〃	多度津町消防団	分団長	三浦 光秀	〃	愛南町消防団	副団長	三浦 智
〃	高松市消防団	分団長	三浦 光秀	〃	伊予市消防団	副団長	三浦 智
〃	宇多津町消防団	分団長	三浦 光秀	〃	大洲市消防団	副団長	三浦 智
〃	坂出市消防団	分団長	三浦 光秀	〃	今治市消防団	副団長	三浦 智
〃	観音寺市消防団	分団長	三浦 光秀	〃	宇和島市消防団	副団長	三浦 智
〃	坂出市消防団	分団長	三浦 光秀	〃	愛南町消防団	副団長	三浦 智
愛媛県	大洲市消防団	副団長	山口 喜生	愛媛県	松山市消防団	分団長	渡部 康夫
〃	西予市消防団	副団長	山口 新一	〃	新居浜市消防団	副分団長	渡部 常明
〃	松野町消防団	副団長	山口 道	〃	久万高原町消防団	副分団長	渡部 義
〃	西条市消防団	分団長	渡野 輝幸	〃	西条市消防団	副分団長	渡部 義
〃	西予市消防団	分団長	渡野 勝浩	〃	新居浜市消防団	副分団長	渡部 明保
〃	西条市消防団	分団長	渡野 色	〃	砥部町消防団	副分団長	渡部 明保
〃	内子町消防団	分団長	渡井 上	〃	新居浜市消防団	副分団長	渡部 明保
〃	四国中央市消防団	分団長	渡井 誠	〃	上島町消防団	副分団長	渡部 明保
〃	伊予市消防団	分団長	渡梅 公龍	〃	四国中央市消防団	部長	渡部 明保
〃	今治市消防団	分団長	渡梅 三郎	〃	今治市消防団	部長	渡部 明保
〃	内子町消防団	分団長	渡季 智	〃	伊予市消防団	部長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	四国中央市消防団	班長	渡部 明保
〃	伊予市消防団	分団長	渡真 敬	〃	四国中央市消防団	班長	渡部 明保
〃	今治市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	久万高原町消防団	分団長	渡真 敬	〃	四国中央市消防団	班長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	久万高原町消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	内子町消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	大洲市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	西条市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	松山市消防団	分団長	渡真 敬	〃	砥部町消防団	班長	渡部 明保
〃	四国中央市消防団	分団長	渡真 敬	高知県	土佐清水市消防団	団長	渡部 明保
〃	今治市消防団	分団長	渡真 敬	〃	宿毛市消防団	団長	渡部 明保
〃	今治市消防団	分団長	渡真 敬	〃	室戸市消防団	団長	渡部 明保

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名	
高知県	中芸広域連合北川村消防団	副団長	井 津 信 廣	福岡県	水巻町消防団	副団長	岡 田 専 一	
	黒潮町消防団	副団長	大 田 均		〃	那珂川町消防団	副団長	古 賀 野 郎
	高幡消防組合四万十消防団	副団長	小 野 重 明		〃	大野城市消防団	副団長	高 野 肇
	いの町消防団	副団長	小 下 輝		〃	岡垣町消防団	副団長	藤 生 秀 未
	高幡消防組合中土佐消防団	副団長	津 野 高 興		〃	柳川市消防団	副団長	湖 上 省 治
	南国市消防団	副団長	山 本 速 生		〃	北九州市小倉北消防団	副団長	村 田 隆 和
	大月町消防団	分団長	内 原 威 威		〃	福岡市南消防団	副団長	吉 浦 正 喜
	本山町消防団	分団長	川 村 高 雄		〃	川崎町消防団	分団長	赤 星 好 健
	中芸広域連合馬路村消防団	分団長	清 岡 眞 治		〃	北九州市小倉北消防団	分団長	秋 好 美 利
	高幡消防組合津野消防団	分団長	下 野 敬 一		〃	飯塚市消防団	分団長	市 吉 英 男
	四万十市消防団	分団長	武 内 幸 男		〃	赤村消防団	分団長	井 手 本 和 夫
	香美市消防団	分団長	千 頭 意 男		〃	福岡市東消防団	分団長	今 林 達 哉
	高知市消防団	分団長	徳 弘 順 昭		〃	福岡市水上消防団	分団長	福 嶋 一 幸
	高幡消防組合須崎消防団	分団長	中 村 哲 幸		〃	飯塚市消防団	分団長	岩 下 一 樹
	仁淀川町消防団	分団長	西 森 重 男		〃	北九州市八幡東消防団	分団長	上 野 秀 春
	香南市夜須消防団	分団長	宗 武 俊 成		〃	大任町消防団	分団長	浦 野 高 幸
	安芸市消防団	分団長	元 久 正 也		〃	築上町消防団	分団長	椎 崎 幸 生
	日高村消防団	分団長	森 下 早 也		〃	田川市消防団	分団長	大 塚 敏 明
	大豊町消防団	分団長	山 中 敏 明		〃	久留米市消防団	分団長	大 塚 村 成 人
	土佐市消防団	分団長	横 飛 意 二		〃	北九州市小倉北消防団	分団長	大 塚 村 成 人
	越知町消防団	分団長	横 山 惠 三		〃	北九州市若松消防団	分団長	奥 平 敬 三
大川村消防団	副分団長	近 藤 康 博	〃	遠賀町消防団	分団長	木 下 輝 男		
高幡消防組合梶原消防団	副分団長	田 邊 一 郎	〃	福智町消防団	分団長	木 村 長 徳		
福岡県	八女市左部消防団	団長	木 村 富 隆	〃	飯塚市消防団	分団長	小 金 丸 一 志	
	うきは市消防団	団長	木 重 富 彦	〃	北九州市門司消防団	分団長	小 西 志 輝	
	大木町消防団	団長	深 町 泰 裕	〃	豊前市消防団	分団長	杉 本 明 輝	
福岡県	糸田町消防団	分団長	高 木 一 也	福岡県	みやこ町消防団	副分団長	下 田 勝 幹	
	〃	分団長	谷 本 一 宏		〃	福岡市早良消防団	副分団長	副 田 直 一郎
	〃	分団長	出 本 徳 彦		〃	築上町消防団	副分団長	高 野 一 彦
	〃	分団長	中 西 守 和		〃	嘉麻市消防団	副分団長	野 見 山 孝 光
	〃	分団長	中 村 和 光		〃	嘉麻市消防団	副分団長	宮 原 由 光
	〃	分団長	林 田 幸 範		佐賀県	唐津市消防団	副団長	石 石 秀 樹
	〃	分団長	原 中 直 夫		〃	唐津市消防団	副団長	齋 崎 申 子 夫
	〃	分団長	福 田 俊 彦		〃	多久市消防団	副団長	松 岡 伸 一
	〃	分団長	藤 下 達 夫		〃	佐賀市消防団	副団長	豆 田 繁 治
	〃	分団長	二 石 豪 壽		〃	伊万里市消防団	分団長	江 浦 久 宣
	〃	分団長	堀 保 也 徳		〃	嬉野市消防団	分団長	蒲 口 政 徳
	〃	分団長	三 島 国 松		〃	太良町消防団	分団長	川 口 正 彦
	〃	分団長	森 下 寛 光		〃	武雄市消防団	分団長	澤 井 嘉 郎
	〃	分団長	森 本 良 典		〃	吉野ヶ里町消防団	分団長	秋 行 眞 喜
	〃	分団長	柳 伊 佐 男		〃	佐賀市消防団	分団長	正 正 林 紀 之
	〃	分団長	山 内 司 清		〃	武雄市消防団	分団長	副 岡 昌 清
	〃	分団長	山 口 光 男		〃	江北町消防団	分団長	副 武 富 和 広
	〃	副分団長	有 石 普 一		〃	佐賀市消防団	分団長	田 田 和 彦
	〃	副分団長	宇 藤 洋 一		〃	神埼市消防団	分団長	多 良 久 法
	〃	副分団長	奥 野 嘉 知 生		〃	白石町消防団	分団長	土 堀 誠 二
	〃	副分団長	加 藤 喜 久 弘		〃	鹿島市消防団	分団長	堤 井 明 弘
〃	副分団長	河 上 和 之 義	〃	佐賀市消防団	分団長	中 牟 田 伸 義		
〃	副分団長	幸 丸 誠 一	〃	佐賀市消防団	分団長	館 富 光 次		
〃	副分団長	小 林 正 一	〃	嬉野市消防団	分団長	吉 川 正 幸		
〃	副分団長	坂 本 利 一	〃	唐津市消防団	分団長	本 多 志 晋		
〃	副分団長	志 岐 博 一	〃	唐津市消防団	分団長	松 尾 久 一		

都道府県名	所属	階級	氏名
佐賀県	唐津市消防団	分団長	松田 雄二
	鳥栖市消防団	分団長	雪嶋 靖弘
	白石町消防団	分団長	山崎 高樹
	小城市消防団	分団長	山口 隆士
	有田町消防団	分団長	山下 義明
	大町町消防団	分団長	川口 功雄
	唐津市消防団	副分団長	中嶋 政美
	上峰町消防団	団員	石松 和正
	佐賀市消防団	団員	岡本 正和
	長崎県	五島市消防団	副団長
長崎市消防団		副団長	内田 隆英
長崎市消防団		副団長	佐々木 眞己
長崎市消防団		副団長	新見 恵一
佐世保市消防団		副団長	中村 忠男
南島原市消防団		副団長	中山 幸治
対馬市消防団		副団長	宮本 美明
西海市消防団		副団長	橋本 稔夫
南島原市消防団		副団長	森田 昭
宍岐市消防団		副団長	平田 勇
西海市消防団		副団長	水谷 正生
諫早市消防団		副団長	森正 信
対馬市消防団		副団長	安田 壽和
対馬市消防団		分団長	阿比留 普展
雲仙市消防団		分団長	荒木 孝文
東彼杵町消防団		分団長	石井 浩幸
長崎市消防団	分団長	井手 繁夫	

都道府県名	所属	階級	氏名
長崎県	松浦市消防団	分団長	井手 真悟
	平戸市消防団	分団長	井上 均喜
	長崎市消防団	分団長	井野 隆平
	時津町消防団	分団長	川口 昇
	平戸市消防団	分団長	川本 昇市
	佐世保市消防団	分団長	黒川 純則
	川棚町消防団	分団長	小原 林静
	長崎市消防団	分団長	柴原 孝一郎
	大村市消防団	分団長	竹井 勉
	佐世保市消防団	分団長	筒井 浩孝
	島原市消防団	分団長	前中 浩治
	長崎市消防団	分団長	松尾 孝治
	長崎市消防団	分団長	松尾 孝房
	雲仙市消防団	分団長	松田 美樹
	佐々町消防団	分団長	松水 登
	松浦市消防団	分団長	吉田 武勇
平戸市消防団	分団長	吉水 勇人	
新上五島町消防団	副分団長	吉井 秀徳	
長崎市消防団	副分団長	川崎 善和	
新上五島町消防団	部長	川松 美三	
小値賀町消防団	班長	須崎 卓臣	
五島市消防団	団員	須崎 卓臣	
五島市消防団	団員	須崎 卓臣	
新上五島町消防団	団員	須崎 卓臣	
熊本県	嘉島町消防団	団員	金澤 清二

都道府県名	所属	階級	氏名
熊本県	玉名市消防団	団長	中山 久
	山都町消防団	団長	山本 勝洋
	菊陽町消防団	副団長	有村 英敏
	御船町消防団	副団長	内村 光宏
	宇城市消防団	副団長	河村 謙治
	玉名市消防団	副団長	北川 公和
	山都町消防団	副団長	境 公夫
	和水町消防団	副団長	小嶋 龍司
	水俣市消防団	副団長	白石 征司
	苓北町消防団	副団長	瀬形 靖介
	天草市消防団	副団長	中田 雄介
	天草市消防団	副団長	堤 正敏
	玉名市消防団	副団長	井野 典次
	合志市消防団	副団長	中川 幸次
	水俣市消防団	副団長	中村 勝文
	八代市消防団	副団長	草野 功
天草市消防団	副団長	平山 金吾	
熊本市消防団	副団長	廣田 太郎	
山都町消防団	副団長	松岡 和博	
錦町消防団	副団長	幸田 弘美	
宇城市消防団	副団長	山本 悦美	
上天草市消防団	副団長	脇本 茂	
八代市消防団	分団長	有田 盛芳	
天草市消防団	分団長	石井 勝	
八代市消防団	分団長	入江 昌勝	
山鹿市消防団	分団長	太田 周二	

都道府県名	所属	階級	氏名
熊本県	天草市消防団	分団長	尾崎 昌俊
	天草市消防団	分団長	川上 豊光
	熊本市消防団	分団長	田中 龍男
	八代市消防団	分団長	籠池 功
	山鹿市消防団	分団長	中澤 謙和
	熊本市消防団	分団長	中村 治一
	八代市消防団	分団長	中西 泰
	熊本市消防団	分団長	西村 一人
	天草市消防団	分団長	福本 伸一
	熊本市消防団	分団長	星原 昇志
	熊本市消防団	分団長	松崎 安規
	熊本市消防団	分団長	宮崎 隆彦
	八代市消防団	分団長	山口 正亨
	八代市消防団	分団長	山口 正二
	熊本市消防団	副分団長	緒方 謙
	熊本市消防団	副分団長	後藤 勝範
熊本市消防団	副分団長	藤原 重雄	
熊本市消防団	副分団長	山本 哲生	
宇城市消防団	団員	山田 誠	
天草市消防団	団員	上田 直	
熊本市消防団	団員	米村 次	
大分県	豊後大野市消防団	副団長	麻生 秀次
	中津市消防団	副団長	井上 正治
	日田市消防団	副団長	河津 裕光
	竹田市消防団	副団長	熊谷 光弘

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
大分県	佐伯市弥生消防団	副団長	佐藤 慶二	大分県	豊後高田市消防団	副分団長	野中 澄登
〃	宇佐市消防団	副団長	時枝 清憲	〃	佐伯市鶴見消防団	班長	古川 積士
〃	佐伯市蒲江消防団	副団長	高橋 清人	〃	豊後大野市消防団	団員	阿部 謙一
〃	玖珠町消防団	副団長	中野 信幸	〃	佐伯市直川消防団	団員	小野 泰雄
〃	中津市消防団	副団長	中野 周治	〃	佐伯市宇目消防団	団員	中野 斐規
〃	日田市消防団	副団長	矢野 則行	〃	中津市消防団	団員	北山 健吾
〃	杵築市消防団	分団長	阿部 修三	〃	佐伯市本匠消防団	団員	後藤 藤喜
〃	大分市消防団	分団長	石崎 常生	〃	佐伯市宇目消防団	団員	武田 邦弘
〃	別府市消防団	分団長	浦野 洋史	〃	津久見市消防団	団員	日名子 正一
〃	宇佐市消防団	分団長	江藤 栄治	宮崎県	小林市消防団	団長	芝原 正彦
〃	由布市消防団	分団長	川野 寿明	〃	小林市消防団	副団長	市来 秀幸
〃	宇佐市消防団	分団長	行徳 忠己	〃	西都市消防団	副団長	山口 幸治
〃	日田市消防団	分団長	佐藤 謙一	〃	宮崎市消防団	分団長	神前 功博
〃	大分市消防団	分団長	佐藤 好輝	〃	宮崎市消防団	分団長	小田原 工一
〃	津久見市消防団	分団長	清水 峰雄	〃	都城市消防団	分団長	鎌田 樹
〃	別府市消防団	分団長	菅野 万章	〃	西都市消防団	分団長	佐藤 仁志
〃	大分市消防団	分団長	中原 憲夫	〃	日南市消防団	分団長	杉本 昭二
〃	臼杵市連合消防団臼杵消防団	分団長	藤山 弘次	〃	西都市消防団	分団長	藤 隆
〃	日田市消防団	分団長	平嶋 政己	〃	都城市消防団	分団長	戸切 正高
〃	中津市消防団	分団長	廣沢 行廣	〃	宮崎市消防団	分団長	徳田 博徳
〃	臼杵市連合消防団臼杵消防団	分団長	廣瀬 昭一	〃	日南市消防団	分団長	外山 和徳
〃	中津市消防団	分団長	松井 康之	〃	都城市消防団	分団長	長岡 博博
〃	大分市消防団	分団長	松川 成己	〃	美郷町消防団	分団長	中田 修彦
〃	中津市消防団	分団長	向井 日出丸	〃	高千穂町消防団	分団長	野尻 幸基
〃	豊後高田市消防団	副分団長	尾尾 芳秀	〃	日向市消防団	分団長	藤野 孝行
〃	豊後高田市消防団	副分団長	近藤 真一郎	〃	延岡市消防団	分団長	藤 本 隆雄

都道府県名	所 属	階 級	氏 名	都道府県名	所 属	階 級	氏 名
宮崎県	日向市消防団	分団長	村上 光彦	鹿児島県	錦江町消防団	分団長	中道 榮
〃	西都市消防団	分団長	吉野 忠明	〃	宇検村消防団	分団長	中村 廣秋
〃	延岡市消防団	副分団長	申斐 博司	〃	垂水市消防団	分団長	田中 治
〃	串間市消防団	副分団長	村上 眞司	〃	奄美市消防団	分団長	平井 雅人
〃	延岡市消防団	副分団長	長岡 美善	〃	南九州市消防団	分団長	山本 正一
〃	日南市消防団	副分団長	湯浅 勝明	〃	日置市消防団	分団長	南宏 茂
〃	延岡市消防団	副分団長	吉田 義光	〃	鹿児島市消防団	分団長	森園 隆盛
〃	西米良村消防団	部長	榎和 美幸	〃	鹿児島市消防団	分団長	田中 初夫
〃	串間市消防団	部長	塩屋 宗幸	〃	錦江町消防団	副分団長	小脇 光春
鹿児島県	指宿市消防団	団長	下吹越 誠一	〃	いちき串木野市消防団	副分団長	西ノ園 隆
〃	始良市消防団	団長	高山 和則	〃	出水市消防団	副分団長	西川 秀男
〃	枕崎市消防団	団長	中原 重信	〃	鹿児島市消防団	副分団長	南行 博博
〃	出水市消防団	副団長	尾野 俊光	〃	鹿児島市消防団	班長	崎野 志人
〃	屋久島町消防団	副団長	川崎 俊海	〃	鹿児島市消防団	班長	芦谷 正人
〃	霧島市消防団	副団長	迫重 博	〃	霧島市消防団	班長	境口 利一
〃	南さつま市消防団	副団長	塩屋 義雅	〃	鹿児島市消防団	班長	坂下 実義
〃	日置市消防団	副団長	山下 秀志	〃	薩摩川内市消防団	班長	東 計
〃	奄美市消防団	副団長	藤本 益啓	〃	垂水市消防団	班長	福徳 則男
〃	志布志市消防団	副団長	持留 幸二	〃	鹿児島市消防団	班長	山内 憲男
〃	志布志市消防団	副団長	持山 輝一	〃	霧島市消防団	団員	木佐木 六男
〃	南九州市消防団	副団長	米 憲一	〃	南大隅町消防団	団員	小川内 登
〃	肝付町消防団	分団長	山下 龍太郎	〃	霧島市消防団	団員	曾山 美夫
〃	薩摩川内市消防団	分団長	山下 幹夫	〃	霧島市消防団	団員	曾山 福徳
〃	鹿児島市消防団	分団長	平良 健一	〃	大崎町消防団	団員	花田 久光
〃	南さつま市消防団	分団長	田元 和正				
〃	薩摩川内市消防団	分団長	時吉 正男				

少年消防クラブ活動に参加しませんか

消防庁 地域防災室

少年消防クラブは、子どもたちが防火・防災について学び、訓練や講習など様々な体験を通して、消火や応急手当などの知識・技術を身に付けることを目的として活動しているクラブです。学校、町内会、消防署、消防団(分団)などの単位で組織されていることが多く、平成26年5月1日現在、日本全国で4,558クラブ、小学生から高校生までの約42万人のクラブ員が活動しています。

少年消防クラブの活動内容は、クラブによって様々ですが、主に以下のような活動が行われています。

(1) 防災マップ作り

クラブ員が自分たちの住むまち・地域を実際に歩き、消火栓の場所や災害時の危険箇所などを把握し、防災マップを作成することを通じて、地域の防災に対する理解を深めています。

(2) 防火パトロールの実施

日頃より地域の住民の方々へ火災予防を呼びかけるため、消防職員・団員等とともに、防火パトロールや防火パレードなどの防火広報活動を行っています。

(3) 研究発表(ポスター等作成)

防火・防災に関する研究を行い、その成果をまとめたレポートやポスター、防火新聞等を作成して校内に展示したり、各家庭に配布したりして、火災予防や防火・防災意識の高揚に努めています。

(4) 防災訓練等への参加

防災訓練や防災講習会等への参加、消防署への見学・訪問等を通じ、火災の知識や地震等の自然災害が発生する仕組みを学習したり、消火器などを使った初期消火の方法、ロープワーク、応急手当の方法等を学んだりしています。

(5) 防災キャンプ

主に夏休みを利用して、学校の体育館や運動場等に寝泊まり(避難所体験訓練)し、炊き出しを実施する等、普段なかなか体験できない活動を通じて、仲間との連帯感を高めています。

少年消防クラブの活動は、命や暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、地域と関わりを持ち、幅広い年齢層の仲間と交流を深める機会にもなっており、人間形成や地域社会への参加の面でも大変有意義な活動です。

加えて、平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、「少年消防クラブ」が初めて法律に明記され、少年消防クラブに対する期待は、ますます高まっています。

消防庁では毎年、活発な活動を行っている少年消防クラブやその活動を支える指導者に対する表彰を実施しており、平成25年度は、特に優良なクラブ19団体、優良なクラブ31団体、優良な指導者9名を表彰しました。

また、少年消防クラブ員が、消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深める「少年消防クラブ交流会」を、平成24年度に東日本のクラブを中心に岩手県で、平成25年度に西日本のクラブを中心に徳島県でそれぞれ開催し、平成27年度は初めての全国大会を徳島県において開催する予定です(平成26年度は台風等の影響により中止しました)。

身近な生活の中から火災・災害を予防する方法等を学ぶ少年消防クラブに参加してみませんか。少年消防クラブへの参加、活動内容等については、お住まいの近くの消防署や市町村にお問い合わせください。



防火パトロールの様子
(大分県佐伯市 ムササビ少年消防クラブ)
(提供:佐伯市消防本部)



防災マップづくりの様子
(北海道札幌市 東月寒少年消防クラブ)
(提供:札幌市消防局)

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部地域防災室 山下、橋本、山本
TEL: 03-5253-7561

平成27年度消防防災科学技術賞の 作品募集

消防庁 消防研究センター

消防防災機器等の優れた開発・改良を行った者、消防防災科学に関する優れた論文を著した者及び原因調査に関する優れた事例報告を著した者を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、「消防防災機器等の開発・改良」、「消防防災科学論文」および「原因調査事例報告」を募集いたします。皆様の一層のご応募をお待ちいたしております。

【募集区分】

(1) 消防職員・消防団員の部の募集区分

- ① 「消防防災機器等の開発・改良」
- ② 「消防防災科学に関する論文」
- ③ 「原因調査に関する事例報告」

(2) 一般の部の募集区分

- ① 「消防防災機器等の開発・改良」
- ② 「消防防災科学に関する論文」

【表彰】

優秀な作品には消防庁長官より表彰状及び副賞が授与されます。

表彰件数は次のとおりです。

●優秀賞

消防職員・消防団員の部における消防防災機器等の開発・改良	5件以内
消防職員・消防団員の部における消防防災科学に関する論文	5件以内
消防職員・消防団員の部における原因調査に関する事例報告	10件以内
一般の部における消防防災機器等の開発・改良	5件以内
一般の部における消防防災科学に関する論文	5件以内

●奨励賞

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告
3件以内



【応募受付期間】

平成27年4月1日(水)～5月8日(金)
(平成27年5月8日消印有効)

※ 一次審査を通過した応募作品は、ホームページにて紹介します。

表彰作品は9月頃公表される予定です。

詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。

URL : <http://nrifd.fdma.go.jp/>

問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室

TEL: 0422-44-8331

E-mail: hyosho2015@fri.go.jp

第3回国連防災世界会議における 仙台市7消防団の活躍について

仙台市7消防団
(青葉、宮城野、若林、太白、泉、宮城、秋保)

平成27年3月14日から18日までの5日間、第3回国連防災世界会議が宮城県仙台市において開催され、国連加盟の186カ国の各国首脳・閣僚など6,500人が参加し、国際的な防災戦略について議論しました。

期間中は各種セミナーや展示会等の関連事業、歓迎レセプションやスタディツアー等の歓迎事業などが市内各地で行われ、延べ156,000人が参加しました。



火消の華である「伝統階子乗り」の妙技に拍手喝采の会場

仙台市中心部にある勾当台公園で開催されたパブリックフォーラム・国際交流のひろばでは、14日(土)、15日(日)に仙台市7消防団(青葉、宮城野、若林、太白、泉、宮城、秋保の各消防団)による伝統階子乗り演技が行われ、多くの市民で賑わいを見せるなか、来場した外国人の方々に日本の伝統文化を知ってもらう絶好の機会となりました。

「OH! Fantastic!」火消しの華である階子乗りの妙技を初めて見た外国人の方々は、その勇姿と迫力に興奮するばかり。

日本人の防災に対する思いや気概を世界に向けて発信できました。

「階子乗りの紹介コーナー」では階子乗りの衣装(半纏)が試着できることもあって連日大盛況となりました。

また14日(土)、総務省消防庁主催の東日本大震災総合フォーラムにおいて、仙台市青葉消防団の岡村まき子さんが司会者として、地域防災力の重要性を考えるシンポジウムの進行を務めました。

会議最終日には、国際的な行動指針「仙台防災枠組」と参加国がこの指針を実行することを約束した「仙台宣言」が採択され、開催都市に対する多くの感謝の言葉が飛び交うなか、閉幕となりました。



半纏を試着する会議参加者

「奈良市消防団を中核とした 連携訓練の実施について」

奈良市消防団 団長 川崎 政信



奈良市消防団は、平成27年2月9日(月)、奈良市における局所災害(大地震)を想定し、消防団による被災者の避難誘導、避難所での傷病者や精神科医療を必要とする被災者への初動対応処置ができる体制を確立することを目的に市立奈良病院DMAT(ディーマット:災害派遣医療チーム)、奈良県を含む9府県・市のDPAT(ディーパット:災害派遣精神医療チーム)など合同訓練を奈良ロイヤルホテル(奈良市法華寺町)で実施しました。

見学の消防庁や陸上自衛隊などの関係機関も含め、訓練には約430人が参加しました。

訓練内容は以下のとおりです。

訓練1:避難誘導訓練(2月9日(月)設定)

※発災後、消防団詰所に集合した消防団員は、副団長の指示のもと住宅地(住民)、東大寺(観光客)の2か所へ避難誘導に向かい、避難所へ被災者を誘導する。

訓練では、災害対策本部を設置し、消防団は住居や観光地等(奈良ロイヤルホテル客室を被災現場と仮想)から住民と観光客の避難誘導を実施しました。

[設定:住宅地(3階・居室)被災者10名]

・寝たきり高齢者(1名)担架搬送・要介護高齢者(1名)・歩行可能(8名)うち6名のみ誘導※2名の高齢者夫婦を誘導できず。夫に認知症があり避難を拒否された。

[設定:観光地東大寺(2階・ホワイエ)被災者10名]

・負傷者(1名)担架搬送
・要介護高齢者(1名)車いす搬送
・歩行可能(8名)誘導

訓練2:避難所対応訓練(2月10日(火)設定)

※発災翌日(18時・発災後1日半経過の避難所を想定)、避難所には被災者110名と消防団員30名がいる。すでに奈良市は災害対策本部を設置。

避難所責任者より市災害対策本部への連絡も済んでいる。避難所には負傷者がおり、市保健所職員3名が避難所へ到着したが、医療チームは到着していない。避難所責任者より消防団へ「他に支援の必要な方がいるか確認をし報告してほしい」との依頼がある。



訓練Ⅰ 避難誘導

訓練では、避難誘導を終えた消防団は、奈良市自主防災防犯協議会と避難所(奈良ロイヤルホテル宴会場を仮想)の対応にあたりました。

その後、消防団はDMAT、救急隊と連携し、負傷者の救護を行い、救急隊の搬送協力を実施しました。さらに消防団はDPATと連携し、被災者に対して心理的応急処置(PFA)を開始しました。その後、要援護者リスト作成し、避難所責任者、保健師らへ報告しました。

また、訓練では、奈良市消防団長等による市災害対策本部及び避難所本部を設置する訓練も同時に行いました。

終了後には、参加者全員による「ふりかえり」を実施し、訓練で気付いた課題について各団体から報告があり、また、3月14日(土)には訓練検証会を実施し、今後の訓練で再度検証していきこととなりました。



訓練Ⅱ 消防団・医療支援機関との連携

うちの

名物団員



桜井市消防団 初瀬分団 馳向部 団員 出雲部 団員

松田 浩資 三橋 玄太郎

奈良盆地の南東部に位置する、「ひみこの里、記紀万葉のふるさと」桜井市からは、松田浩資さんと三橋玄太郎さんを紹介します。



松田さんは市職員として「こどもセンター」勤務されていた時、和太鼓と出会われました。

現在、サークル「初瀬太鼓鱗角舎」で子どもたちや地域の人たちと和太鼓を通して交流を深められています。

日々練習を重ね、地元のイベントだけではなく県内の

老人ホームや各学校等での催しでも演奏されています。

今後も、和太鼓や消防団活動を通じて地域のために活躍が期待されています。

三橋さんは日本各地でアートや音楽のイベント、寺社史跡などの屋内外で竹の巨大アートを制作されています。龍や鳳凰などをモチーフに10m、20mサイズのオブジェを割った竹の線で組み上げます。アート活動と同時に「竹の國」という非営利団体を運営し、美しい竹林を作ろうと竹やぶの整備活動をしながら竹の様々な利用方法の研究や、ワークショップなどを開催されています。

また地元の史跡を舞台に音楽と踊り、アートを融合させた地域おこしイベントも開催されています。



奈良県

四日市市消防団 水沢分団 団員

清水 聖一

伊勢茶の産地、水沢地区で茶農業を営む彼は、東京都世田谷出身のシティボーイ。

結婚を機に奥さんの実家の茶農家へ。

特産品「かぶせ茶」作りを行う傍ら、消防団に入団後は仲間との絆も深まり、市操法競技大会で優勝も!!



奥さんと共に営む「かぶせ茶カフェ」は、皆さんにもっと水沢のお茶を楽しんでもらおうと4年前オープン。郷土の産物とまち・人をこよなく愛する好漢です。



三重県



女性消防団員の中でもリーダー的存在で、学童指導員としても活動しており、消防団内だけでなく地域からも頼れる存在です。

習志野市消防団 団員

鎌村 亮子

習志野市では、平成21年に復元製作した雲龍水を使い、消防出初式等で消防団員が江戸時代の人々に扮し、消防の歴史と火消しの心意気を今に伝える「演劇」を行っています。

毎年、出演者を変えていますが、百姓の長女「トメ」役で最多出演しているのが鎌村亮子団員です。



佐久穂町消防団 第4分団 団員

山崎 猛哉

新規就農をきっかけに佐久穂町に住むことになった山崎団員。転居するとともに消防団に入団し、現在11年目となります。そんな山崎団員、実はスキーをやりたいために農業を始めたそうです。冬場は地元のスキー学校に勤務していますが、それだけでは満足いかず、競技スキーやバックカントリースキーも楽しんでいるそうです。大好きなスキーを生かし地元ジュニアチームのコーチも担当し、消防団はもちろんのことスキーでも地元に貢献されています。



松前町消防団 第9分団 団員

井原 司

松前町で「ひめさき観光」を経営し、全国各地を飛び廻るという多忙な中、消防団活動に精力的に活動する井原団員。毎年消防団視察研修では、被災地や防災施設等の研修先の選定、視察研修の添乗員までこなす頼れる男です。

団活動においても、添乗員の時と変わらない優しい物言いや心配りで地域住民の心をガッチリ掴んでいます。



都城市消防団 祝吉・小松原分団 分団長

住岡 明敏

「肉と焼酎のまち」都城市にあるJR都城駅から徒歩1分のイタリア料理店「ポレンタ」のオーナーシェフである住岡分団長は、団員からの信頼も厚く、分団長という激務をこなしながら、公民館長も兼務されている熱い熱いスーパーファイヤーマンです。なんと、奥様も10年ほど女性消防団員としてご活躍していただいております。

そんな、分団長が作ってくれるイタリア料理は、ボリューム満点でとってもヴォーノ!! 地元で大人気のアットホームなお店です。

消防団の広場

三重県 「オリジナル操法競技大会で団員の結束を固める」

四日市市消防団 団長

伊藤 忠夫



【四日市市消防団の概要】

四日市の沿岸部から山間部までを守る四日市市消防団は、全26分団620名。それぞれの地域特性に応じた活動を日夜行っています。女性のみで啓発広報を担当するサルビア分団や、水防対応、音楽隊などの機能別団員も活躍しています。

【消防操法競技大会の開催】

四日市市消防団では、毎年、「消防操法競技大会」という実戦的応用操法の大会を開催しています。

副団長を座長に数回の検討部会を開き、競技内容を練り上げ、三つあるブロックごとに特設会場を設置し訓練を行います。

訓練に先立ち、所轄署員による訓練展示を受け、担当職員による審査員研修を経て、大会に臨みます。

この操法競技大会は、ホース延長から放水まで実戦さながらの動きを行います。内容にある程度の自由度をあえて残します。



そうすることで、各分団で動きを検討し、コミュニケーションを活性化する狙いがあります。

各分団、約1ヶ月間、早朝や夜間に集まり懸命に訓練し、上位入賞目指して真剣に取り組むことで、団員間の強い絆が醸成されています。



消防団の広場

三重県

「消防団と消防署が

一丸となって災害に立ち向かう」

鳥羽市消防団 団長

小野田 繁



鳥羽市は、4つの有人離島と半島部から構成されており、漁業と観光の街として知られております。鳥羽市消防団は、9分団507名の団員が在籍しています。

団長となり、課題である火災戦術や機関運用技術向上を目標に、様々な訓練を行っておりますので、その取り組みについて紹介します。

【春季訓練】

- ①ポンプメーカーより講師を迎え、整備方法や構造の確認
- ②高低差のある場所で消防署員を教官として中継送水講習



春季訓練 中継送水

【秋季訓練】

- ①ホース転戦要領（消防署員を教官として、梯子を用い、2階への進入から放水まで）
- ②合同想定訓練（出動から放水まで、消防署と合同で実施）



秋季訓練 火災戦術

訓練を通して、消防署と各分団の連携が深まり、災害現場でも良い活動ができてきたと感じています。団員からは、普段できないことを経験できて良かったなど、好評を得ております。

今後も「消防団と消防署が一丸となって災害に立ち向かう」そんな消防団を目指して頑張っていきます。



秋季訓練 合同

平成27年度 全国統一防火標語

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

5月の日本消防協会関係行事

5月13日(水)～20日(水)	消防個人年金海外視察(ドイツ)
5月15日(金)(午後)	福祉共済事業等運営委員会
5月中旬	監事監査(消防育英会)
5月中旬	消防育英会理事会
5月25日(月)(午後)	監事監査(日本消防協会)
5月28日(木)(午前)	日本消防協会正副会長会議、定時理事会

編集後記

本号から、「日本消防」の編集担当が、T.SからM.M(滋賀県から派遣)に変わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

4月と言えば、桜の花のイメージと同時に、入学や入社など新しい世界が始まる印象が強くなります。

東京に着任時、至る所で桜は満開であり、私を含め今年度からお世話になる10名を桜の花が歓迎してくれているように思えました。

さて、平成27年度は、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行後の初年度であり、派遣職員一同、精一杯「日本消防協会」で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これからも、「日本消防」を通じて、消防団をはじめ、消防に関する情報をご紹介していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(M.M)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,448円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十八巻第四号
平成二十七年四月五日印刷
平成二十七年四月十日発行

編集人 生嶋 文昭

発行所 (公財)日本消防協会
東京都港区虎ノ門二丁目十九番十六
電話 〇三(353)一四八二(代)

印刷所
千葉市稲毛区山王町一〇二一五
株式会社白樺写真工藝
電話 〇四三(423)一一〇一(代)

消防団員・消防職員の皆様の火災共済

消防団員
消防職員
ならどなたでも
加入できます

まさかの時お役に立ちます。

風水雪害等共済金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損) 火災共済金375万円のお支払い **1500倍補償**

B型火災共済 (消防団 消防本部) 毎に皆で加入

キャンペーン期間中B型火災共済に加入しますと、テントを消防団等に配布します。

(加入者100人以上または、掛金10万円以上が対象)

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害
にも対応!!

建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部(消防協会)へ。



(三方の横幕も付属します。)

お支払
対象

●火災共済金

火災・落雷・爆発・破裂

●風水雪害等共済金

風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-3503-1439
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率(年1.25%) + 配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円(ゆうちょ
銀行は五千円)から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金(5種類)又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金(脱退一時金)
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

(お問い合わせ先) 公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494

平日 9:00~17:00